

# 個別事項「プロセス指標」

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項  
[令和6年12月11日付け青が生第1716号通知]

自治体名	津軽圏域
------	------

## 胃がん検診（胃部X線）

プロセス指標	基準値等	津軽圏域	—	青森県	全国	対象年度	対象年齢
検診受診率	30%以上※1	7.7%	—	8.3%	2.8%	令和4年度	50～74歳 男女計
要精検率	7.6%以下	3.3%	—	2.3%	2.0%	令和3年度	50～74歳 男女計
精検受診率	90%以上	72.4%	—	77.5%	80.7%	令和3年度	50～74歳 男女計
精検未受診率	20%以下※2	10.9%	—	8.0%	8.0%	令和3年度	50～74歳 男女計
精検未把握率	10%以下※2	16.7%	—	14.5%	11.3%	令和3年度	50～74歳 男女計
陽性反応適中度	1.5%以上	1.2%	—	1.1%	1.6%	令和元～令和3年度	50～74歳 男女計
がん発見率	0.11%以上	0.13%	—	0.09%	0.11%	令和元～令和3年度	50～74歳 男女計

※1 プロセス指標で求められている目標値(60%以上)と算定方法が異なるため、便宜上30%を最大値としてグラフを作成する。

※2 旧プロセス指標値。令和6年1月改正のプロセス指標では、「精検未受診率と精検未把握率の合計が10%未満」となっている。

※3 胃部内視鏡検査も実施している場合、検診受診率が見かけ上、低くなっている可能性がある。

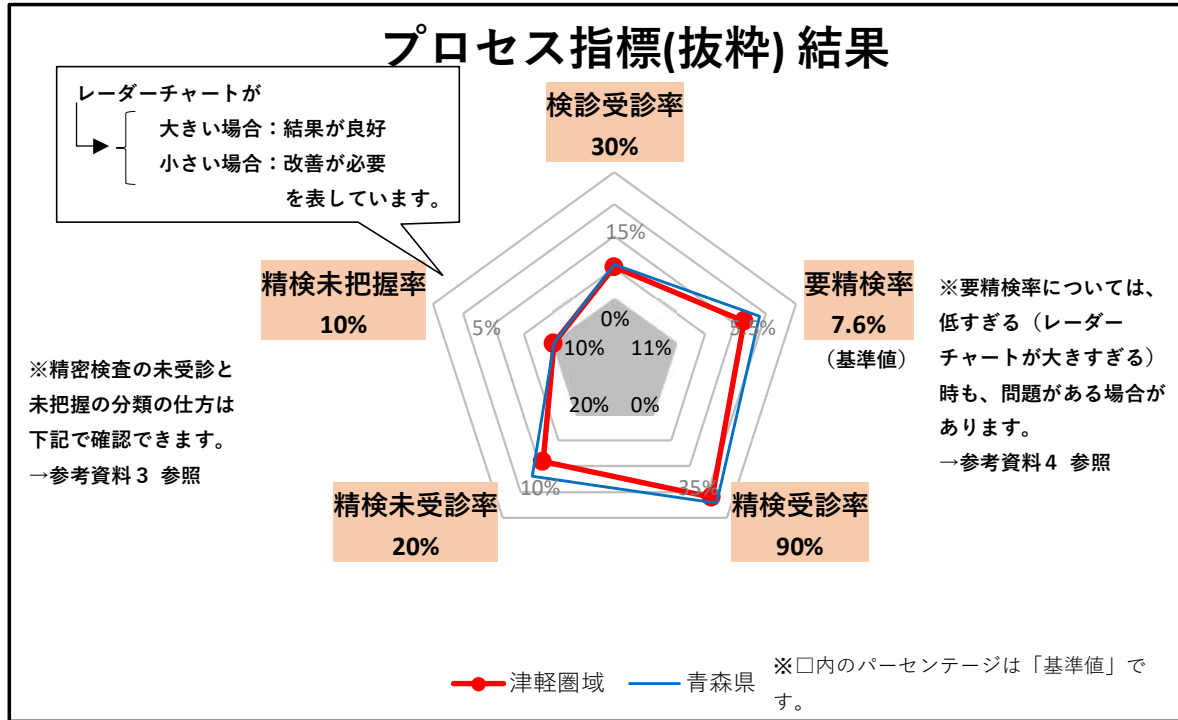
**【県コメント】**

<検診受診率>  
県平均以下となっています。対象者を全員把握できているか、対象者へのコール・リコールが実施できているか、受診者の利便性（休日夜間の検診、バス送迎等）が確保できているか等検討してください。

<精検受診率>  
基準値以上となるよう、精検受診勧奨が適切に実施できているか、精検受診者の利便性が確保できているか等検討してください。併せて、精検未把握率が高くなっていないか確認してください。精検受診率が低いと陽性反応適中度とがん発見率は正確に評価できません。

<精検未受診率>  
基準値以下となっていますが、精検未把握率が高い場合、見かけ上未受診率が低くなることに注意してください。

<精検未把握率>  
基準値以下となるよう、「精検受診の有無及び精検結果」を確実に把握できる体制ができているか検討してください。



# 個別事項「プロセス指標」

自治体名 **津軽圏域**

## 胃がん検診（胃部内視鏡）

プロセス指標	基準値等	津軽圏域	—	青森県	全国	対象年度	対象年齢
検診受診率	30%以上※1	2.6%	—	0.7%	1.4%	令和4年度	50～74歳 男女計
要精検率	7.7%以下	4.6%	—	4.9%	6.7%	令和3年度	50～74歳 男女計
精検受診率	90%以上	86.5%	—	84.9%	92.9%	令和3年度	50～74歳 男女計
精検未受診率	20%以下※2	0.0%	—	0.0%	1.7%	令和3年度	50～74歳 男女計
精検未把握率	10%以下※2	13.5%	—	15.1%	5.3%	令和3年度	50～74歳 男女計
陽性反応適中度	2.5%以上	5.4%	—	5.1%	4.0%	令和元～令和3年度	50～74歳 男女計
がん発見率	0.19%以上	0.26%	—	0.25%	0.28%	令和元～令和3年度	50～74歳 男女計

※1 プロセス指標で求められている目標値(50%以上)と算定方法が異なるため、便宜上30%を最大値としてグラフを作成する。

※2 旧プロセス指標値。令和6年1月改正のプロセス指標では、「精検未受診率と精検未把握率の合計が10%未満」となっている。

※3 2年連続受診者の算定が困難であるため、その者がいた場合、検診受診率に含まれている。

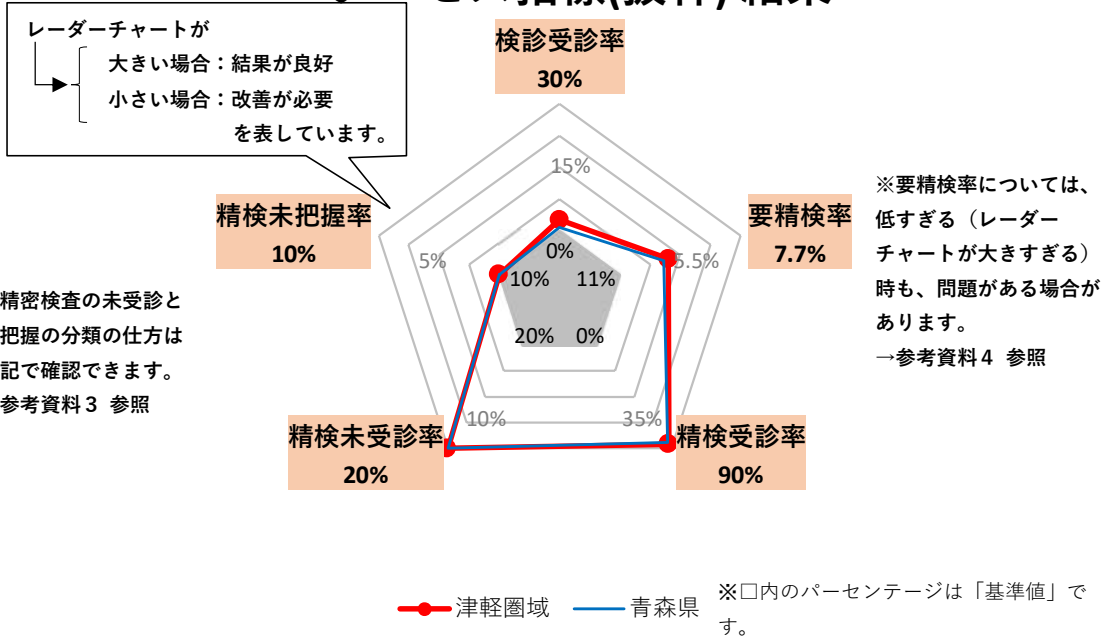
### 【県コメント】

<精検受診率>  
基準値以上となるよう、精検受診勧奨が適切に実施できているか、精検受診者の利便性が確保できているか等検討してください。併せて、精検未把握率が高くなっていないか確認してください。精検受診率が低いと陽性反応適中度とがん発見率は正確に評価できません。

<精検未受診率>  
許容値以下となっていますが、精検未把握率が高い場合、見かけ上未受診率が低くなることに注意してください。

<精検未把握率>  
基準値以下となるよう、「精検受診の有無及び精検結果」を確実に把握できる体制ができていないか検討してください。

## プロセス指標(抜粋) 結果



# 個別事項「プロセス指標」

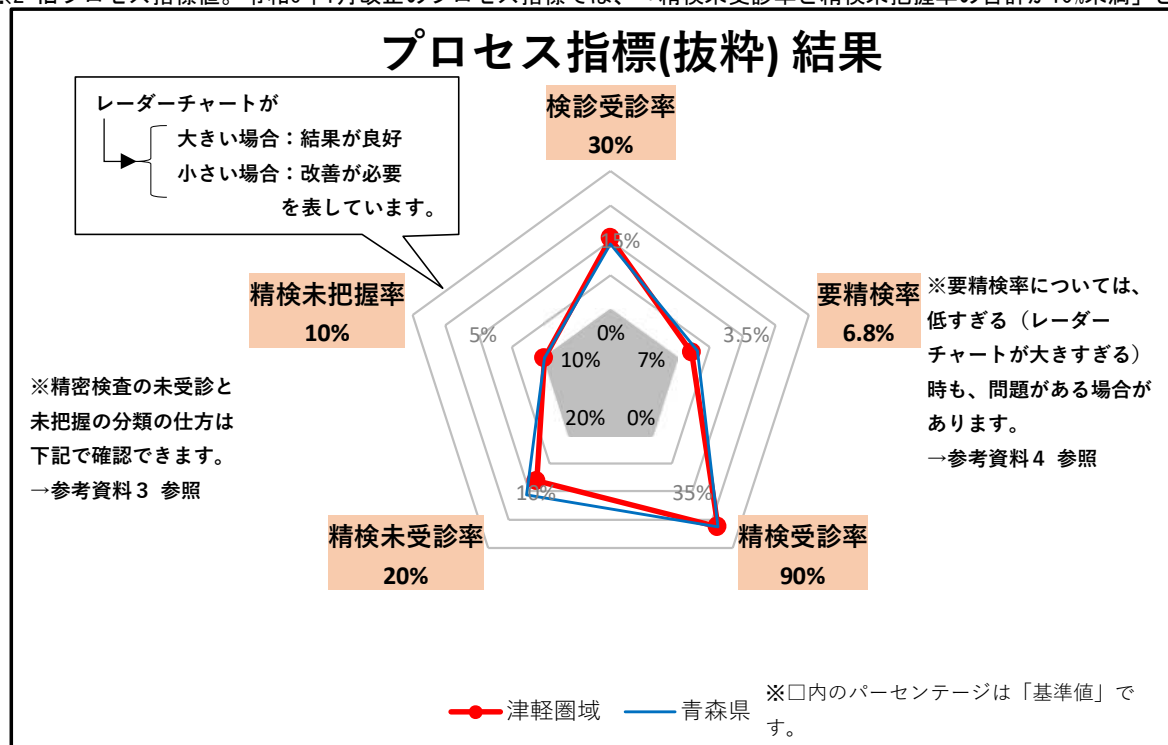
自治体名	津軽圏域
------	------

## 大腸がん検診

プロセス指標	基準値等	津軽圏域	—	青森県	全国	対象年度	対象年齢
検診受診率	30%以上※1	15.5%	—	14.3%	8.8%	令和4年度	40～74歳 男女計
要精検率	6.8%以下	6.0%	—	5.7%	6.0%	令和3年度	40～74歳 男女計
精検受診率	90%以上	73.4%	—	73.2%	71.3%	令和3年度	40～74歳 男女計
精検未受診率	20%以下※2	11.9%	—	9.3%	13.1%	令和3年度	40～74歳 男女計
精検未把握率	10%以下※2	14.7%	—	17.4%	15.6%	令和3年度	40～74歳 男女計
陽性反応適中度	3.0%以上	4.4%	—	3.1%	3.1%	令和元～令和3年度	40～74歳 男女計
がん発見率	0.21%以上	0.27%	—	0.18%	0.20%	令和元～令和3年度	40～74歳 男女計

※1 プロセス指標で求められている目標値(50%以上)と算定方法が異なるため、便宜上30%を最大値としてグラフを作成する。

※2 旧プロセス指標値。令和6年1月改正のプロセス指標では、「精検未受診率と精検未把握率の合計が10%未満」となっている。



### 【県コメント】

<精検受診率>  
基準値以上となるよう、精検受診勧奨が適切に実施できているか、精検受診者の利便性が確保できているか等検討してください。併せて、精検未把握率が高くなっていないか確認してください。精検受診率が低いと陽性反応適中度とがん発見率は正確に評価できません。

<精検未受診率>  
基準値以下となっていますが、精検未把握率が高い場合、見かけ上未受診率が低くなることに注意してください。

<精検未把握率>  
基準値以下となるよう、「精検受診の有無及び精検結果」を確実に把握できる体制ができていないか検討してください。

# 個別事項「プロセス指標」

自治体名

津軽圏域

## 肺がん検診

プロセス指標	基準値等	津軽圏域	—	青森県	全国	対象年度	対象年齢
検診受診率	30%以上※1	10.0%	—	11.0%	7.9%	令和4年度	40～74歳 男女計
要精検率	2.4%以下	1.0%	—	1.2%	1.7%	令和3年度	40～74歳 男女計
精検受診率	90%以上	79.2%	—	87.1%	83.2%	令和3年度	40～74歳 男女計
精検未受診率	20%以下※2	8.5%	—	5.8%	5.7%	令和3年度	40～74歳 男女計
精検未把握率	10%以下※2	12.3%	—	7.1%	11.0%	令和3年度	40～74歳 男女計
陽性反応適中度	4.1%以上	5.3%	—	3.5%	2.4%	令和元～令和3年度	40～74歳 男女計
がん発見率	0.10%以上	0.06%	—	0.04%	0.04%	令和元～令和3年度	40～74歳 男女計

※1 プロセス指標で求められている目標値(50%以上)と算定方法が異なるため、便宜上30%を最大値としてグラフを作成する。

※2 旧プロセス指標値。令和6年1月改正のプロセス指標では、「精検未受診率と精検未把握率の合計が10%未満」となっている。

### プロセス指標(抜粋) 結果

レーダーチャートが  
大きい場合：結果が良好  
小さい場合：改善が必要  
を表しています。

精検未把握率  
10%

※精密検査の未受診と未把握の分類の仕方は下記で確認できます。  
→参考資料3 参照

精検未受診率  
20%

検診受診率  
30%

要精検率  
2.4%

※要精検率については、低すぎる(レーダーチャートが大きすぎる)時も、問題がある場合があります。  
→参考資料4 参照

※□内のパーセンテージは「基準値」です。

● 津軽圏域    ● 青森県

### 【県コメント】

<検診受診率>  
県平均以下となっています。対象者を全員把握できているか、対象者へのコール・リコールが実施できているか、受診者の利便性(休日夜間の検診、バス送迎等)が確保できているか等検討してください。

<精検受診率>  
基準値以上となるよう、精検受診勧奨が適切に実施できているか、精検受診者の利便性が確保できているか等検討してください。併せて、精検未把握率が高くなっていないか確認してください。精検受診率が低いと陽性反応適中度とがん発見率は正確に評価できません。

<精検未受診率>  
基準値以下となっていますが、精検未把握率が高い場合、見かけ上未受診率が低くなることに注意してください。

<精検未把握率>  
基準値以下となるよう、「精検受診の有無及び精検結果」を確実に把握できる体制ができているか検討してください。

# 個別事項「プロセス指標」

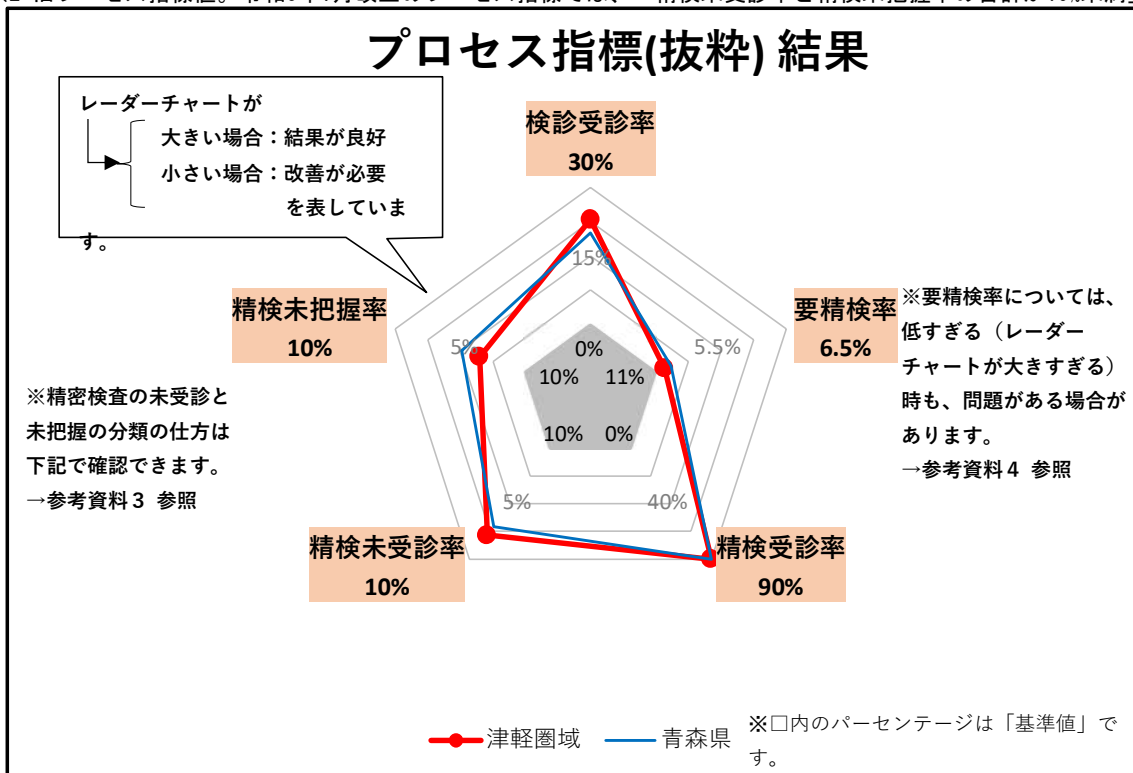
自治体名	津軽圏域
------	------

## 乳がん検診

プロセス指標	基準値等	津軽圏域	(うち前年度 未受診)	(うち2年 連続受診)	—	青森県	全国	対象年度	対象年齢
検診受診率	30%以上 <sup>※1</sup>	22.9%	22.66%	0.26%	—	20.1%	16.0%	令和3~4年度	40~74歳 女性
要精検率	6.5%以下	6.0%			—	5.7%	5.9%	令和3年度	40~74歳 女性
精検受診率	90%以上	91.4%			—	91.9%	90.1%	令和3年度	40~74歳 女性
精検未受診率	10%以下 <sup>※2</sup>	2.2%			—	3.0%	2.9%	令和3年度	40~74歳 女性
精検未把握率	10%以下 <sup>※2</sup>	6.5%			—	5.1%	7.0%	令和3年度	40~74歳 女性
陽性反応適中度	6.1%以上	5.5%			—	5.9%	5.5%	令和元~令和3年度	40~74歳 女性
がん発見率	0.40%以上	0.33%			—	0.34%	0.33%	令和元~令和3年度	40~74歳 女性

※1 プロセス指標で求められている目標値(50%以上)と算定方法が異なるため、便宜上30%を最大値としてグラフを作成する。

※2 旧プロセス指標値。令和6年1月改正のプロセス指標では、「精検未受診率と精検未把握率の合計が10%未満」となっている。



### 【県コメント】

<検診受診率(受診間隔)>  
受診率は高いほうが望ましい指標ですが、受診間隔(2年に1回)は遵守する必要があります。

# 個別事項「プロセス指標」

自治体名

津軽圏域

## 子宮頸がん検診

プロセス指標	基準値等	津軽圏域	(うち前年度未受診)	(うち2年連続受診)	—	青森県	全国	対象年度	対象年齢
検診受診率	30%以上※1	25.8%	25.8%	0.0%	—	18.5%	15.5%	令和3～4年度	20～74歳 女性
要精検率	2.5%以下	1.9%			—	1.8%	2.2%	令和3年度	20～74歳 女性
精検受診率	90%以上	81.7%			—	81.3%	77.7%	令和3年度	20～74歳 女性
精検未受診率	20%以下※2	4.4%			—	5.2%	6.5%	令和3年度	20～74歳 女性
精検未把握率	10%以下※2	14.0%			—	13.5%	15.9%	令和3年度	20～74歳 女性
陽性反応適中度	5.9%以上※3	5.0%			—	6.4%	6.6%	令和元～令和3年度	20～74歳 女性
がん発見率	0.15%以上※3	0.11%			—	0.13%	0.15%	令和元～令和3年度	20～74歳 女性

※1 プロセス指標で求められている目標値(50%以上)と算定方法が異なるため、便宜上30%を最大値としてグラフを作成する。

※2 旧プロセス指標値。令和6年1月改正のプロセス指標では、「精検未受診率と精検未把握率の合計が10%未満」となる。

※3 令和6年1月改正のプロセス指標により、分子は「がんであった者(がん、AIS、CIN3であった者の和)」となった。

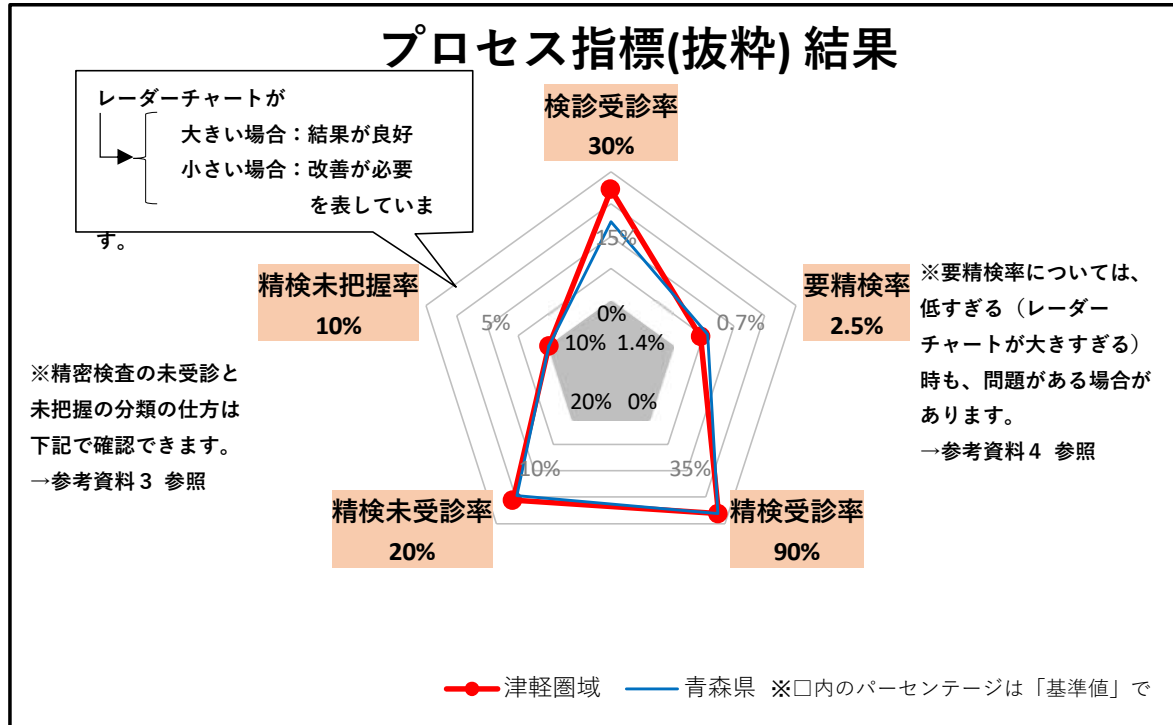
**【県コメント】**

<検診受診率(受診間隔)>  
 受診率は高いほうが望ましい指標ですが、受診間隔(2年に1回)は遵守する必要があります。

<精検受診率>  
 基準値以上となるよう、精検受診勧奨が適切に実施できているか、精検受診者の利便性が確保できているか等検討してください。併せて、精検未把握率が高くなっていないか確認してください。精検受診率が低いと陽性反応適中度とがん発見率は正確に評価できません。

<精検未受診率>  
 基準値以下となっていますが、精検未把握率が高い場合、見かけ上未受診率が低くなることに注意してください。

<精検未把握率>  
 基準値以下となるよう、「精検受診の有無及び精検結果」を確実に把握できる体制ができているか検討してください。

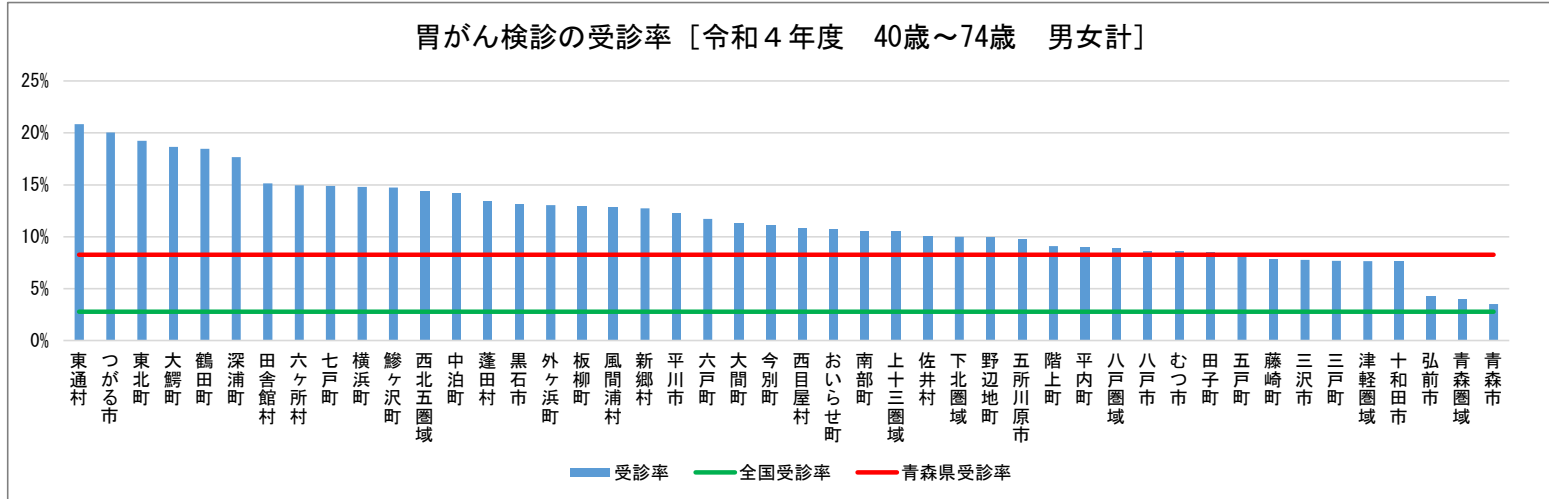


個別事項「プロセス指標」

令和4年度 胃がん検診（胃部X線）プロセス指標－受診率－

自治体名	津軽圏域
------	------

1. 胃がん検診（胃部X線）の受診率



**指標の意義・一般的な対策**

- ・受診率は、高い方が望ましい指標です。精度管理により検診の質を高めた上で、受診率を上げていく必要があります。
- ・性別・年齢階級別／検診機関別／検診歴別（初回・非初回別）の集計・分析は、課題を検討し、対策を講じるうえで必要となるため、台帳の電子システム化等により行えるようにすることが必要です。
- ・特定の年齢層の受診率が低い場合や、初回受診者が少ない場合、個別の受診勧奨・再勧奨の実施や、検診の提供体制（キャパシティ、利便性等）の改善について検討が必要です。

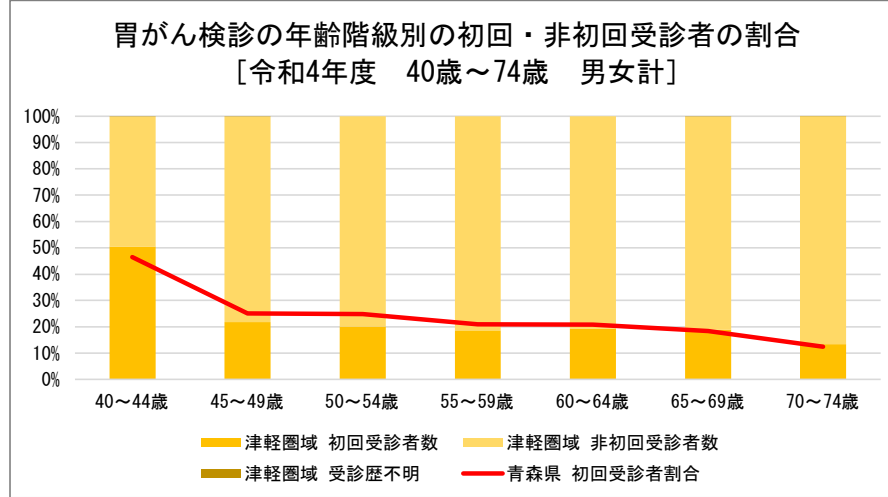
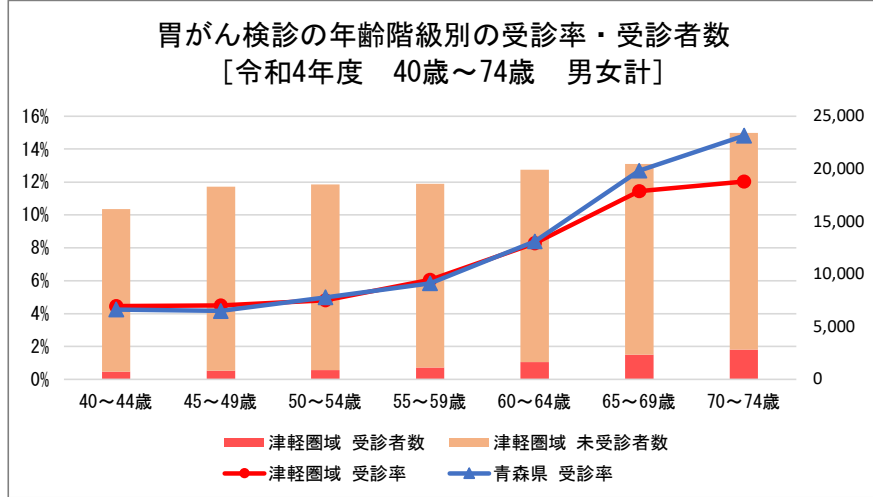
<胃がん検診（胃部X線）の受診率 [令和4年度 40歳～74歳 男女計] >

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
受診率	2.8%	8.3%	4.1%	7.7%	8.9%	14.4%	10.5%	10.0%	3.5%	4.3%	8.6%	13.2%	9.7%	7.6%	7.8%	8.6%	20.1%	12.2%
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	40位	39位	31位	14位	28位	38位	36位	32位	2位	19位
受診者数	1,649,107	51,358	6,102	10,365	13,777	8,872	8,691	3,551	4,903	3,466	9,470	2,146	2,595	2,303	1,401	2,401	3,006	1,858
対象者数	59,203,380	620,270	150,336	135,405	154,708	61,735	82,597	35,489	139,283	81,296	109,582	16,262	26,653	30,268	17,987	27,928	14,991	15,182
区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱒ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
受診率	9.0%	11.1%	13.5%	13.1%	14.7%	17.7%	10.9%	7.8%	18.7%	15.1%	12.9%	18.5%	14.2%	9.9%	14.9%	11.7%	14.8%	19.2%
順位	30位	22位	13位	15位	11位	6位	23位	35位	4位	7位	16位	5位	12位	27位	9位	20位	10位	3位
受診者数	507	130	181	381	715	684	65	566	853	560	851	1,122	750	630	1,145	629	304	1,581
対象者数	5,624	1,168	1,343	2,918	4,854	3,868	597	7,212	4,572	3,698	6,586	6,076	5,293	6,343	7,683	5,368	2,056	8,226
区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村						
受診率	15.0%	10.7%	11.3%	20.8%	12.8%	10.1%	7.7%	8.0%	8.5%	10.5%	9.1%	12.7%						
順位	8位	24位	21位	1位	17位	26位	37位	34位	33位	25位	29位	18位						
受診者数	698	1,346	293	640	120	97	365	667	223	924	638	144						
対象者数	4,666	12,545	2,594	3,073	934	960	4,755	8,288	2,630	8,759	7,018	1,131						

[受診率の計算方法について]  
 受診者数÷対象者数=受診率  
 ※他のプロセス指標に合わせ、75歳未満の受診率を計算しているため他の統計の受診率と異なる。  
 ※胃内視鏡検査も実施している場合、検診受診率が見かけ上、低くなっている可能性がある。

(出典：R4年度地域保健・健康増進事業報告) ※対象者数(分母)は対象年齢の全住民で、受診者数(分子)は市町村事業の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。

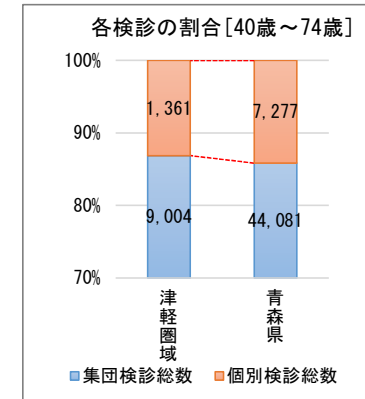
2. 胃がん検診（胃部X線）の受診者の状況



<胃がん検診（胃部X線）の年齢階級別の受診者数・受診率 [令和4年度 男女計]>

区分	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～69歳	40～74歳
津軽圏域 対象者数	16,177	18,301	18,509	18,584	19,926	20,473	23,435	51,213		186,618	111,970	135,405
津軽圏域 受診者数	720	821	889	1,125	1,649	2,342	2,819	1,775	1,259	13,399	7,546	10,365
津軽圏域 初回受診者数	363	179	179	209	316	443	376	269	161	2,495	1,689	2,065
津軽圏域 非初回受診者数	356	641	710	916	1,333	1,897	2,442	1,506	1,098	10,899	5,853	8,295
津軽圏域 受診歴不明	1	1	0	0	0	2	1	0	0	5	4	5
津軽圏域 受診率	4.5%	4.5%	4.8%	6.1%	8.3%	11.4%	12.0%	5.9%		7.2%	6.7%	7.7%
青森県 対象者数	72,772	85,437	86,779	82,480	89,672	95,230	107,900	220,025		840,295	512,370	620,270
青森県 受診者数	3,090	3,553	4,323	4,815	7,519	12,079	15,979	10,081	6,579	68,018	35,379	51,358
青森県 初回受診者数	1,437	890	1,070	1,011	1,567	2,224	1,989	1,328	818	12,334	8,199	10,188
青森県 非初回受診者数	1,628	2,634	3,225	3,777	5,917	9,794	13,897	8,725	5,739	55,336	26,975	40,872
青森県 受診歴不明	25	29	28	27	35	61	93	28	22	348	205	298
青森県 受診率	4.2%	4.2%	5.0%	5.8%	8.4%	12.7%	14.8%	7.6%		8.1%	6.9%	8.3%

※初回受診者＝過去3年間に受診歴がない者  
 ※非初回受診者＝過去3年間に受診歴がある者



※受診者数はR4年度の受診者数である。

※初回受診者数と非初回受診者数の合計が受診者数と一致しない、または初回受診者数と非初回受診者数を計上していない市町村があるため、そのような場合は受診歴不明として計上している。

※対象者数から受診者数を除いた人数を未受診者数と定義しているが、実際は職場や人間ドック等でがん検診を受診している者が含まれている。



# 個別事項「プロセス指標」（別紙4とは対象年度が異なる点に留意）

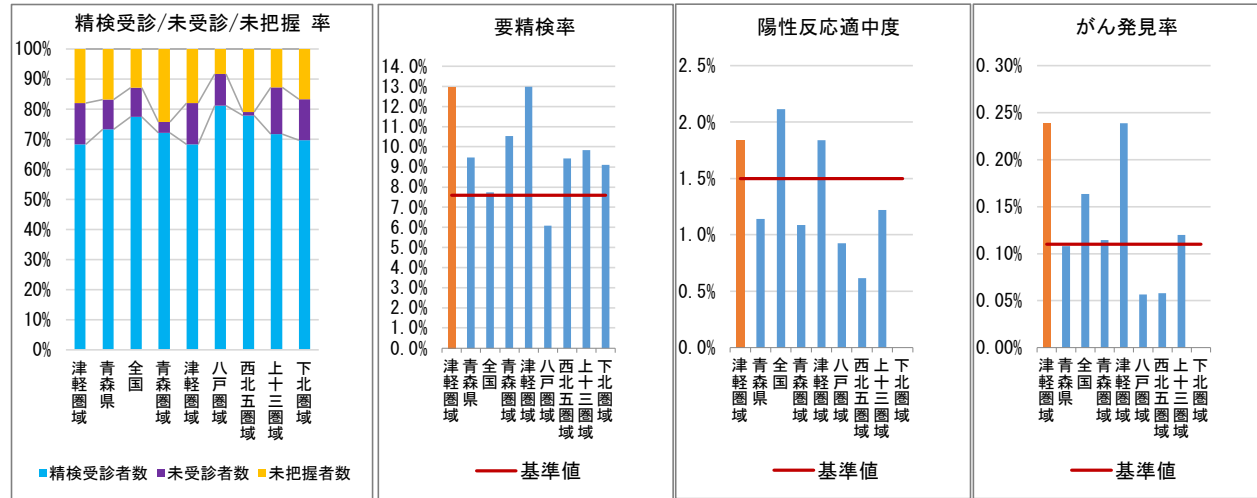
別紙4\_参考2

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項  
[令和6年12月11日付け青が生第1716号通知]

## 令和元～令和3年度 胃がん検診（胃部X線）プロセス指標－受診率を除く－

自治体名	津軽圏域
------	------

### 1. 胃がん検診（胃部X線）のプロセス指標（受診率を除く）



※基準値以下で極端な高低がないこと ※基準値以上で極端な高低がないこと ※基準値以上で極端な高低がないこと

### <胃がん検診（胃部X線）のプロセス指標 [令和元～令和3年度 50歳～74歳 男女計] >

区分	津軽圏域	青森県	全国	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	基準値
受診者数	4,184	20,361	619,766	2,619	4,184	5,324	3,449	3,336	1,449	—
要精検者数	543	1,928	47,943	276	543	324	325	328	132	—
未把握者数	98	324	6,183	67	98	27	68	42	22	—
未受診者数	74	191	4,645	10	74	34	4	51	18	—
精検受診者数	371	1,413	37,115	199	371	263	253	235	92	—
がんであった者	10	22	1,014	3	10	3	2	4	0	—
要精検率	13.0%	9.5%	7.7%	10.5%	13.0%	6.1%	9.4%	9.8%	9.1%	7.6% 以下
精検受診率	68.3%	73.3%	77.4%	72.1%	68.3%	81.2%	77.8%	71.6%	69.7%	90% 以上
未受診率+未把握率	31.7%	26.7%	22.6%	27.9%	31.7%	18.8%	22.2%	28.4%	30.3%	10% 以下
陽性反応適中度	1.8%	1.1%	2.1%	1.1%	1.8%	0.9%	0.6%	1.2%	0.0%	1.5% 以上
がん発見率	0.24%	0.11%	0.16%	0.11%	0.24%	0.06%	0.06%	0.12%	0.00%	0.11% 以上

※要精検率のプロセス指標について、受診間隔は1年間隔のものである。

指標の意義・一般的な対策	
精検受診率 未受診率 未把握率	<ul style="list-style-type: none"> <li>要精検者の精検受診状況を測る指標です。</li> <li>精検受診率が低ければ、死亡率減少につながらないため、検診受診率よりも精検受診率向上が優先されます。また、100%に近くなければ、がん発見率等を適切に評価できません。</li> <li>精検結果回収の仕組みを整備し、精検未受診・未把握を適切に分類して、精検受診勧奨に取り組むことで、精検受診率100%に向けて取り組む必要があります。</li> </ul>
要精検率	<ul style="list-style-type: none"> <li>検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標です。対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。</li> <li>要精検率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。</li> </ul>
陽性反応適中度	<ul style="list-style-type: none"> <li>検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。</li> <li>陽性反応適中度が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。</li> </ul>
がん発見率	<ul style="list-style-type: none"> <li>検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。</li> <li>がん発見率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。</li> </ul>

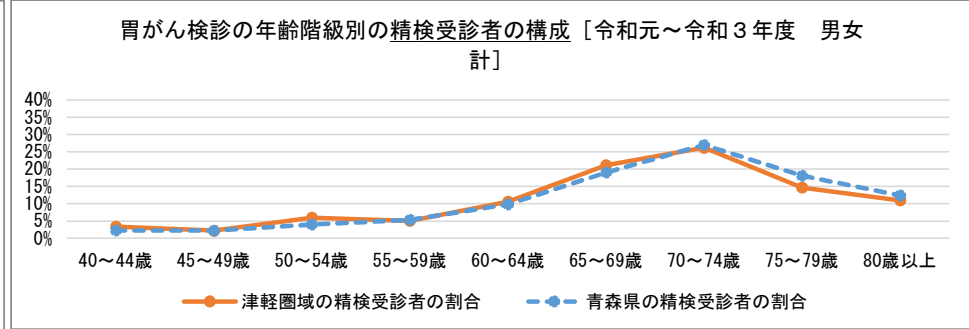
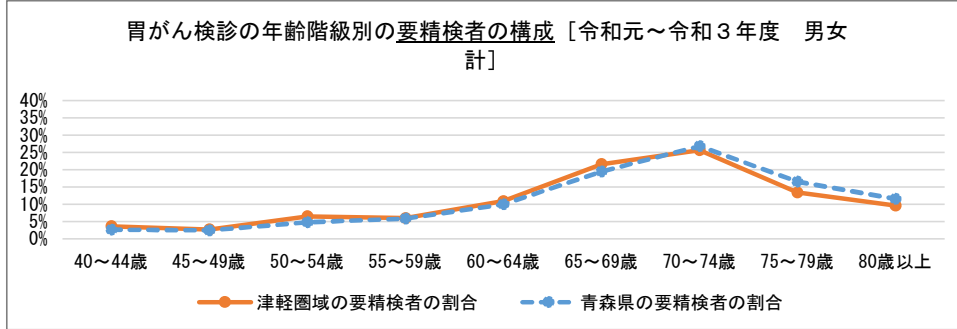
[計算方法] ●要精検率=精検受診者数÷受診者数、●精検受診率=精検受診者数÷要精検者数、●未受診率=未受診者数÷要精検者数、●未把握率=未把握者数÷要精検者数、●陽性反応適中度=がんであった者÷要精検者数、●がん発見率=がんであった者÷受診者数

(出典：R2～R4年度地域保健・健康増進事業報告)

自治体名

津軽圏域

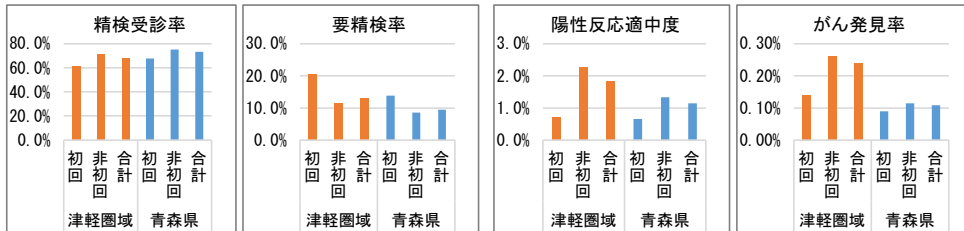
2. 胃がん検診（胃部X線）の年齢階級別・受診歴別・検診方式別のプロセス指標



<胃がん検診（胃部X線）の年齢階級別の要精検者数・精検受診者数・精検受診率【令和元～令和3年度 男女計】>

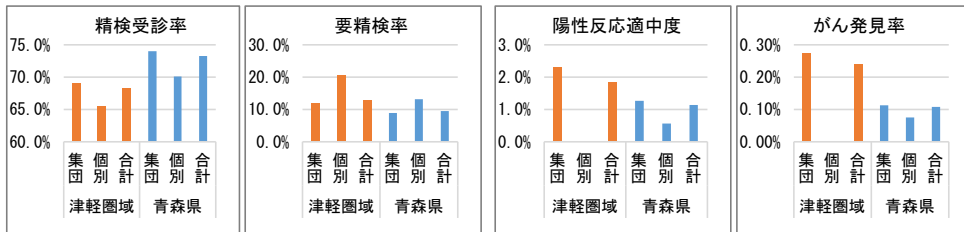
区分	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～74歳
津軽圏域 要精検者数	28	21	50	46	84	166	197	103	74	769	592
津軽圏域 精検受診者数	18	12	32	27	57	114	141	79	59	539	401
津軽圏域 精検受診率	64.3%	57.1%	64.0%	58.7%	67.9%	68.7%	71.6%	76.7%	79.7%	70.1%	67.7%
青森県 要精検者数	76	71	137	168	288	562	773	477	334	2,886	2,075
青森県 精検受診者数	49	48	87	115	213	412	586	393	269	2,172	1,510
青森県 精検受診率	64.5%	67.6%	63.5%	68.5%	74.0%	73.3%	75.8%	82.4%	80.5%	75.3%	72.8%

<胃がん検診（胃部X線）の受診歴別のプロセス指標【令和元～令和3年度 50歳～74歳 男女計】>



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
津軽圏域 初回	710	144	88	1	20.3%	61.1%	0.7%	0.14%
津軽圏域 非初回	3,471	399	283	9	11.5%	70.9%	2.3%	0.26%
津軽圏域 合計	4,184	543	371	10	13.0%	68.3%	1.8%	0.24%
青森県 初回	3,346	461	312	3	13.8%	67.7%	0.7%	0.09%
青森県 非初回	16,617	1,422	1,067	19	8.6%	75.0%	1.3%	0.11%
青森県 合計	20,361	1,928	1,413	22	9.5%	73.3%	1.1%	0.11%

<胃がん検診（胃部X線）の検診方式別のプロセス指標【令和元～令和3年度 50歳～74歳 男女計】>



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
津軽圏域 集団検診	3,664	436	301	10	11.9%	69.0%	2.3%	0.27%
津軽圏域 個別検診	520	107	70	0	20.6%	65.4%	0.0%	0.00%
津軽圏域 合計	4,184	543	371	10	13.0%	68.3%	1.8%	0.24%
青森県 集団検診	17,684	1,577	1,167	20	8.9%	74.0%	1.3%	0.11%
青森県 個別検診	2,677	351	246	2	13.1%	70.1%	0.6%	0.07%
青森県 合計	20,361	1,928	1,413	22	9.5%	73.3%	1.1%	0.11%

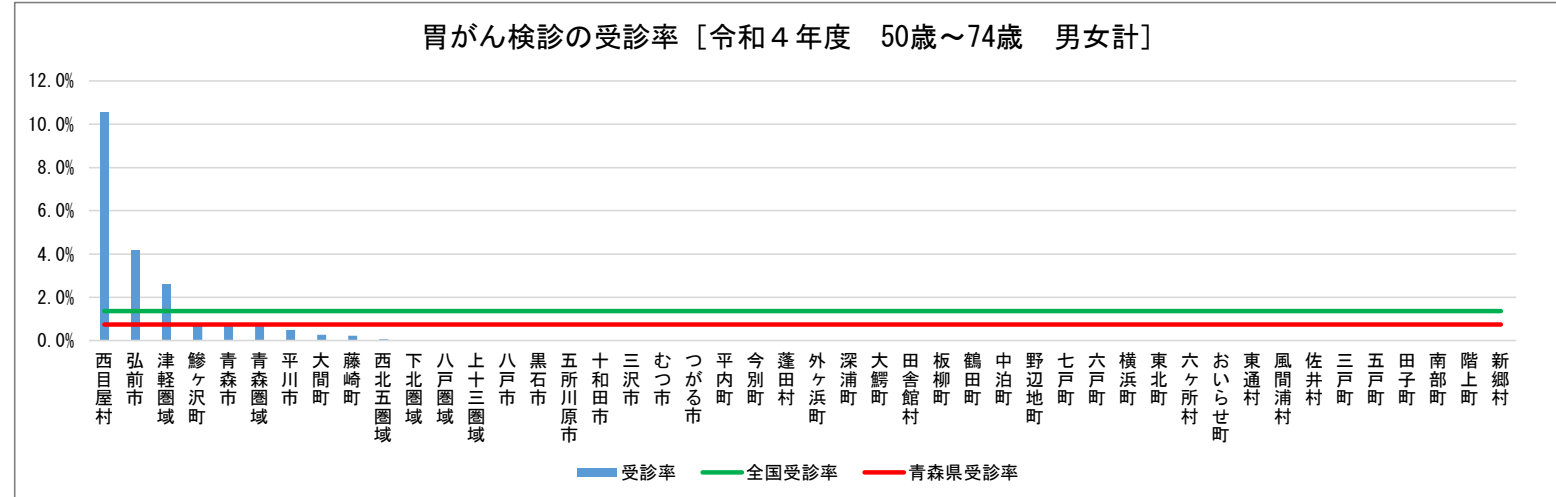
(出典：R2～R4年度地域保健・健康増進事業報告)

個別事項「プロセス指標」

令和4年度 胃がん検診（胃部内視鏡）プロセス指標－受診率－

自治体名	津軽圏域
------	------

1. 胃がん検診（胃部内視鏡）の受診率



**指標の意義・一般的な対策**

- ・受診率は、高い方が望ましい指標です。精度管理により検診の質を高めた上で、受診率を上げていく必要があります。
- ・性別・年齢階級別／検診機関別／検診歴別（初回・非初回別）の集計・分析は、課題を検討し、対策を講じるうえで必要となるため、台帳の電子システム化等により行えるようにすることが必要です。
- ・特定の年齢層の受診率が低い場合や、初回受診者が少ない場合、個別の受診勧奨・再勧奨の実施や、検診の提供体制（キャパシティ、利便性等）の改善について検討が必要です。

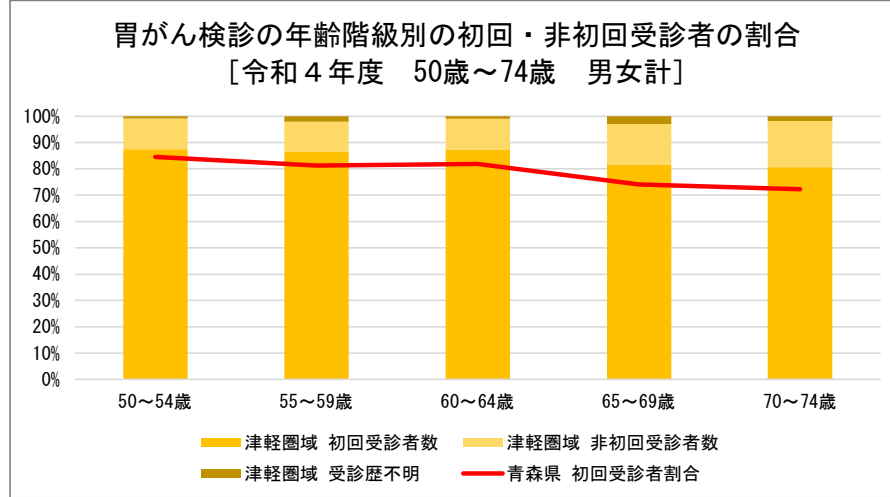
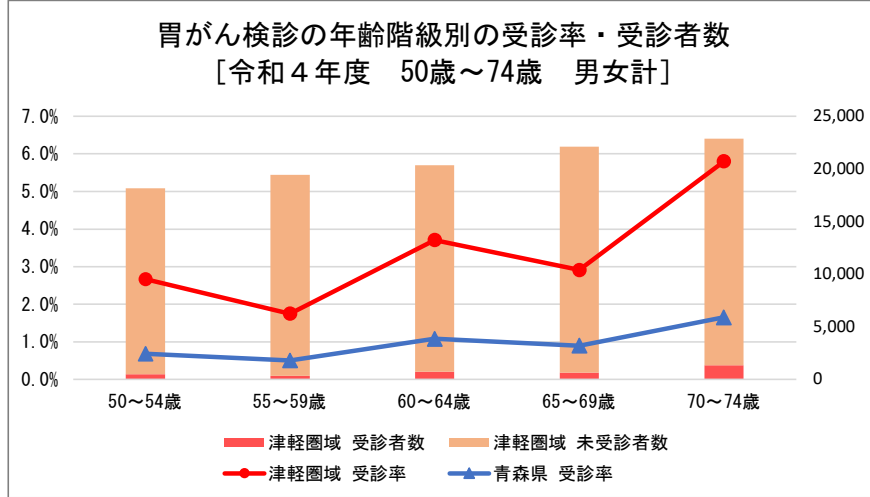
<胃がん検診（胃部内視鏡）の受診率 [令和4年度 50歳～74歳 男女計] >

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
受診率	1.4%	0.7%	0.7%	2.6%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.7%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2位	—	—	—	—	—	—	—	—
受診者数	812,145	4,615	1,022	3,547	0	39	0	7	1,022	3,393	0	0	0	0	0	0	0	74
対象者数	59,203,380	620,270	150,336	135,405	154,708	61,735	82,597	35,489	139,283	81,296	109,582	16,262	26,653	30,268	17,987	27,928	14,991	15,182
区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱒ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
受診率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	10.6%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
順位	—	—	—	—	—	—	1位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
受診者数	0	0	0	0	39	0	63	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
対象者数	5,624	1,168	1,343	2,918	4,854	3,868	597	7,212	4,572	3,698	6,586	6,076	5,293	6,343	7,683	5,368	2,056	8,226
区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村						
受診率	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%						
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						
受診者数	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
対象者数	4,666	12,545	2,594	3,073	934	960	4,755	8,288	2,630	8,759	7,018	1,131						

[受診率の計算方法について]  
 受診者数÷対象者数=受診率  
 ※他のプロセス指標に合わせ、75歳未満の受診率を計算しているため他の統計の受診率と異なる。  
 ※2年連続受診者の算定が困難であるため、その者がいた場合、検診受診率に含まれている。

(出典：R4年度地域保健・健康増進事業報告) ※対象者数(分母)は対象年齢の全住民で、受診者数(分子)は市町村事業の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。

2. 胃がん検診（胃部内視鏡）の受診者の状況

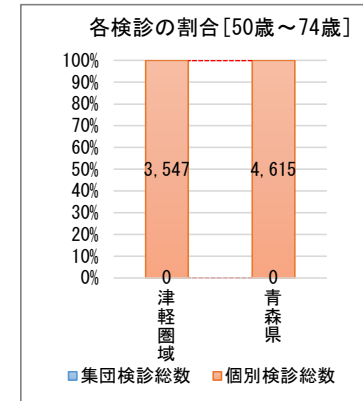


<胃がん検診（胃部内視鏡）の年齢階級別の受診者数・受診率 [令和4年度 男女計]>

区分	対象者数	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	50～69歳	50～74歳
津軽圏域	対象者数	/	/	18,150	19,421	20,332	22,124	22,876	47,258		150,161	80,027	102,903
津軽圏域	受診者数	/	/	484	340	754	643	1,326	675	756	4,978	2,221	3,547
津軽圏域	初回受診者数	/	/	423	294	658	524	1,070	545	636	4,150	1,899	2,969
津軽圏域	非初回受診者数	/	/	57	39	88	100	231	111	100	726	284	515
津軽圏域	受診歴不明	/	/	4	7	8	19	25	19	20	102	38	63
津軽圏域	受診率	/	/	2.7%	1.8%	3.7%	2.9%	5.8%	3.0%		3.3%	2.8%	3.4%
青森県	対象者数	/	/	86,779	82,480	89,672	95,230	107,900	220,025		682,086	354,161	462,061
青森県	受診者数	/	/	593	417	967	855	1,783	905	955	6,475	2,832	4,615
青森県	初回受診者数	/	/	501	339	791	634	1,288	682	767	5,002	2,265	3,553
青森県	非初回受診者数	/	/	87	69	168	199	469	203	168	1,363	523	992
青森県	受診歴不明	/	/	5	9	8	22	26	20	20	110	44	70
青森県	受診率	/	/	0.7%	0.5%	1.1%	0.9%	1.7%	0.8%		0.9%	0.8%	1.0%

※初回受診者＝過去3年間に受診歴がない者

※非初回受診者＝過去3年間に受診歴がある者



※受診者数はR4年度の受診者数である。

※初回受診者数と非初回受診者数の合計が受診者数と一致しない、または初回受診者数と非初回受診者数を計上していない市町村があるため、そのような場合は受診歴不明として計上している。

※対象者数から受診者数を除いた人数を未受診者数と定義しているが、実際は職場や人間ドック等でがん検診を受診している者が含まれている。

# 個別事項「プロセス指標」 (別紙5とは対象年度が異なる点に留意)

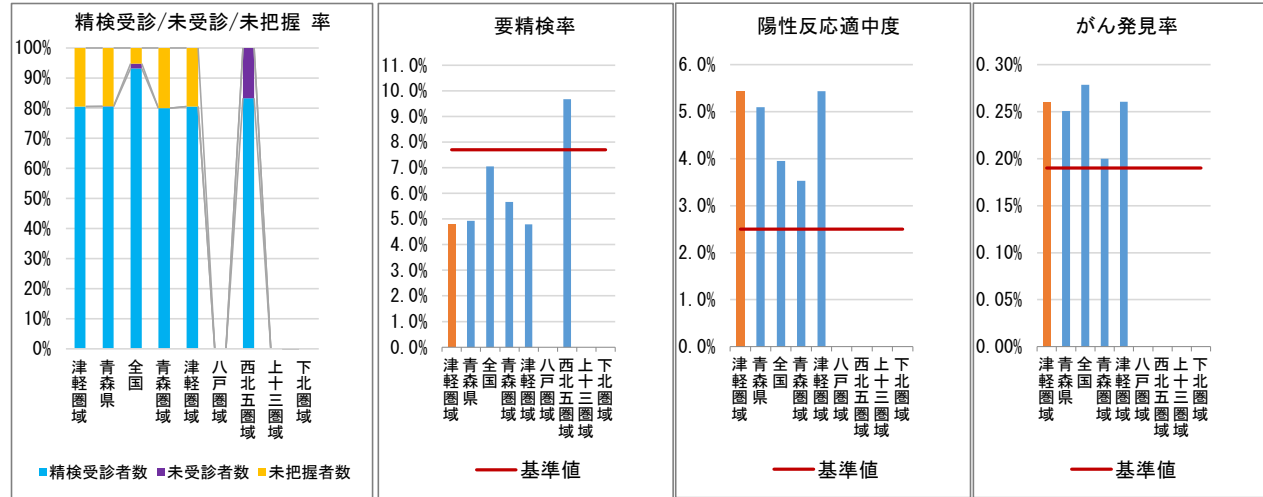
別紙5\_参考2

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項  
[令和6年12月11日付け青が生第1716号通知]

## 令和元～令和3年度 胃がん検診(胃部内視鏡) プロセス指標-受診率を除く-

自治体名 **津軽圏域**

### 1. 胃がん検診(胃部内視鏡)のプロセス指標(受診率を除く)



### 指標の意義・一般的な対策

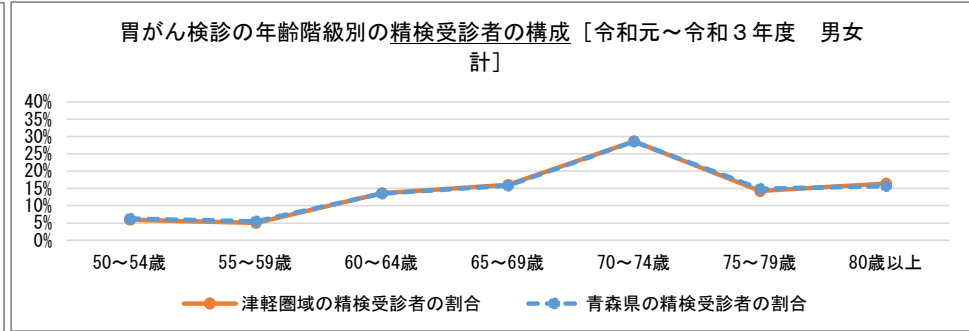
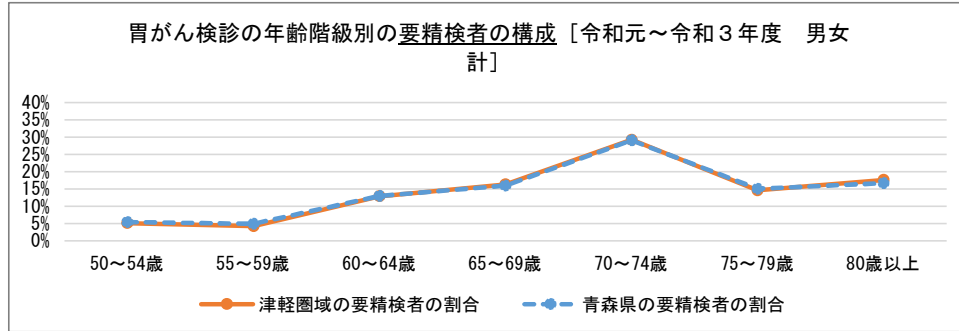
<p><b>精検受診率</b> 未受診率 未把握率</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>要精検者の精検受診状況を測る指標です。</li> <li>精検受診率が低ければ、死亡率減少につながらないため、検診受診率よりも精検受診率向上が優先されます。また、100%に近くなければ、がん発見率等を適切に評価できません。</li> <li>精検結果回収の仕組みを整備し、精検未受診・未把握を適切に分類して、精検受診勧奨に取り組むことで、精検受診率100%に向けて取り組む必要があります。</li> </ul>
<p><b>要精検率</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標です。対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。</li> <li>要精検率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。</li> </ul>
<p><b>陽性反応適中度</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。</li> <li>陽性反応適中度が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。</li> </ul>
<p><b>がん発見率</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。</li> <li>がん発見率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。</li> </ul>

### <胃がん検診(胃部内視鏡)のプロセス指標 [令和元～令和3年度 50歳～74歳 男女計]>

区分	津軽圏域	青森県	全国	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	基準値
受診者数	9,985	11,561	2,252,243	1,501	9,985	0	62	0	13	—
要精検者数	478	569	158,829	85	478	0	6	0	0	—
未把握者数	93	110	8,183	17	93	0	0	0	0	—
未受診者数	0	1	2,472	0	0	0	1	0	0	—
精検受診者数	385	458	145,397	68	385	0	5	0	0	—
がんであった者	26	29	6,277	3	26	0	0	0	0	—
要精検率	4.8%	4.9%	7.1%	5.7%	4.8%	0.0%	9.7%	0.0%	0.0%	7.7% 以下
精検受診率	80.5%	80.5%	91.5%	80.0%	80.5%	0.0%	83.3%	0.0%	0.0%	90% 以上
未受診率+未把握率	19.5%	19.5%	6.7%	20.0%	19.5%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	10% 以下
陽性反応適中度	5.4%	5.1%	4.0%	3.5%	5.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5% 以上
がん発見率	0.26%	0.25%	0.28%	0.20%	0.26%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.19% 以上

[計算方法] ●要精検率=精検受診者数÷受診者数、●精検受診率=精検受診者数÷要精検者数、●未受診率=未受診者数÷要精検者数、●未把握率=未把握者数÷要精検者数、●陽性反応適中度=がんであった者÷要精検者数、●がん発見率=がんであった者÷受診者数  
(出典：R2～R4年度地域保健・健康増進事業報告)

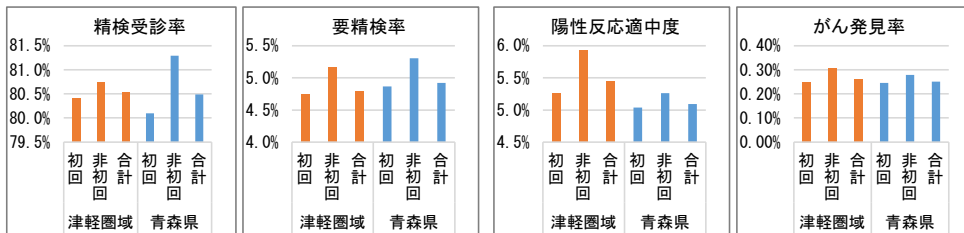
2. 胃がん検診（胃部内視鏡）の年齢階級別・受診歴別・検診方式別のプロセス指標



<胃がん検診（胃部内視鏡）の年齢階級別の要精検者数・精検受診者数・精検受診率 [令和元～令和3年度 男女計]>

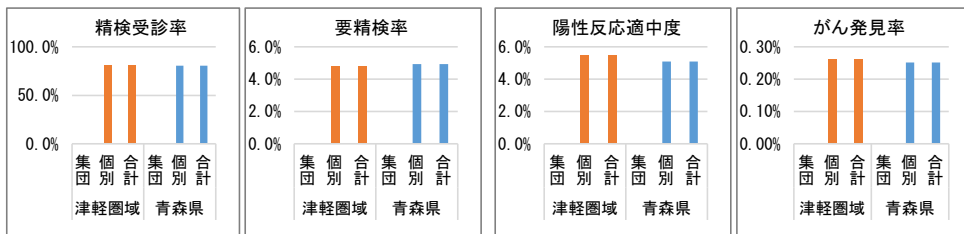
区分	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	50～74歳
津軽圏域 要精検者数			36	30	91	115	206	103	124	705	478
津軽圏域 精検受診者数			33	28	76	89	159	79	91	555	385
津軽圏域 精検受診率			91.7%	93.3%	83.5%	77.4%	77.2%	76.7%	73.4%	78.7%	80.5%
青森県 要精検者数			45	41	108	133	242	125	139	833	569
青森県 精検受診者数			41	36	89	104	188	98	103	659	458
青森県 精検受診率			91.1%	87.8%	82.4%	78.2%	77.7%	78.4%	74.1%	79.1%	80.5%

<胃がん検診（胃部内視鏡）の受診歴別のプロセス指標 [令和元～令和3年度 50歳～74歳 男女計]>



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
津軽圏域 初回	7,203	342	275	18	4.7%	80.4%	5.3%	0.25%
津軽圏域 非初回	2,617	135	109	8	5.2%	80.7%	5.9%	0.31%
津軽圏域 合計	9,985	478	385	26	4.8%	80.5%	5.4%	0.26%
青森県 初回	8,159	397	318	20	4.9%	80.1%	5.0%	0.25%
青森県 非初回	3,224	171	139	9	5.3%	81.3%	5.3%	0.28%
青森県 合計	11,561	569	458	29	4.9%	80.5%	5.1%	0.25%

<胃がん検診（胃部内視鏡）の検診方式別のプロセス指標 [令和元～令和3年度 50歳～74歳 男女計]>



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
津軽圏域 集団検診	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.00%
津軽圏域 個別検診	9,985	478	385	26	4.8%	80.5%	5.4%	0.26%
津軽圏域 合計	9,985	478	385	26	4.8%	80.5%	5.4%	0.26%
青森県 集団検診	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.00%
青森県 個別検診	11,561	569	458	29	4.9%	80.5%	5.1%	0.25%
青森県 合計	11,561	569	458	29	4.9%	80.5%	5.1%	0.25%

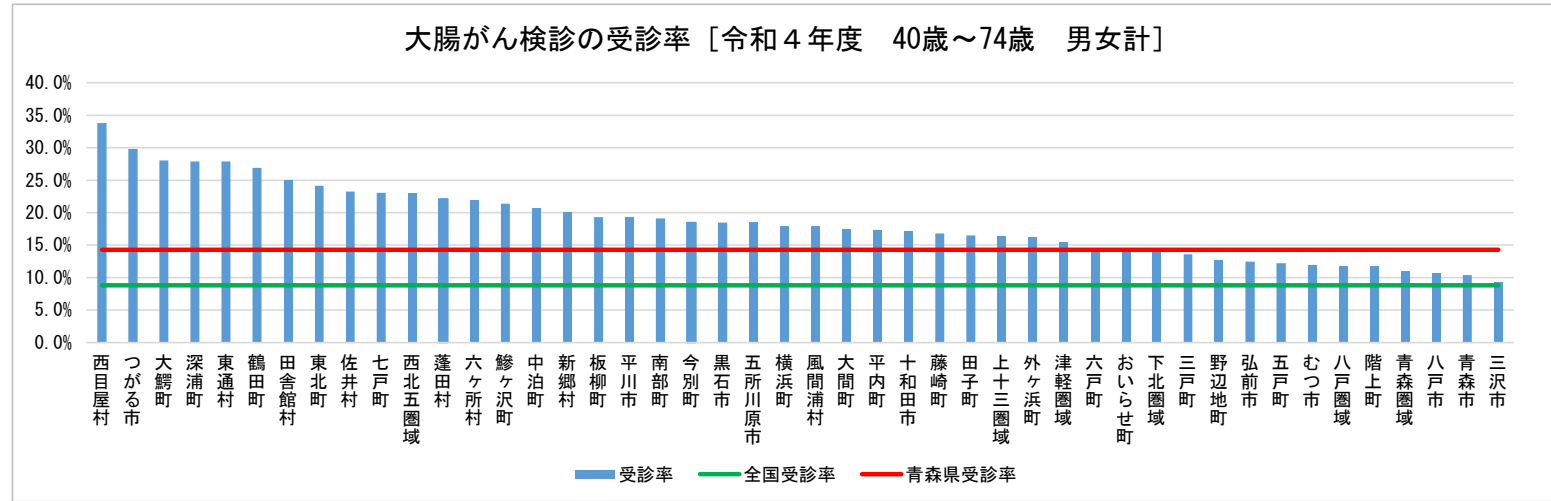
(出典：R2～R4年度地域保健・健康増進事業報告)

# 個別事項「プロセス指標」

## 令和4年度 大腸がん検診プロセス指標－受診率－

自治体名	津軽圏域
------	------

### 1. 大腸がん検診の受診率



**指標の意義・一般的な対策**

- ・受診率は、高い方が望ましい指標です。精度管理により検診の質を高めた上で、受診率を上げていく必要があります。
- ・性別・年齢階級別／検診機関別／検診歴別（初回・非初回別）の集計・分析は、課題を検討し、対策を講じるうえで必要となるため、台帳の電子システム化等により行えるようにすることが必要です。
- ・特定の年齢層の受診率が低い場合や、初回受診者が少ない場合、個別の受診勧奨・再勧奨の実施や、検診の提供体制（キャパシティ、利便性等）の改善について検討が必要です。

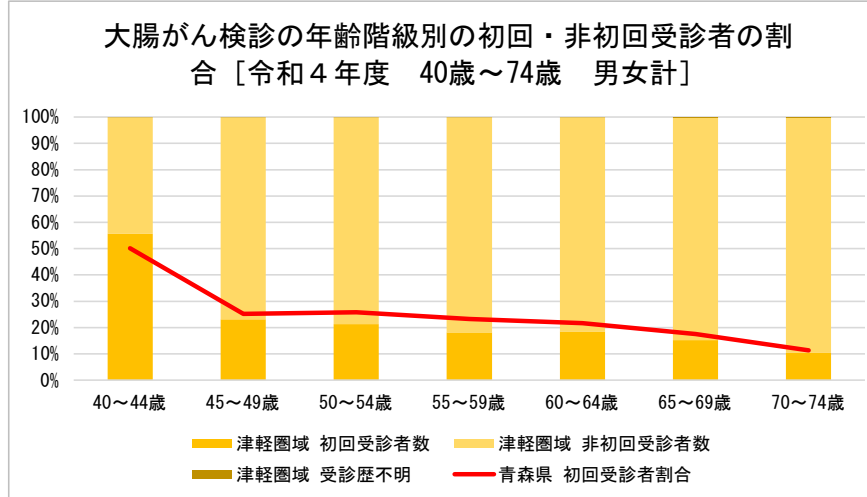
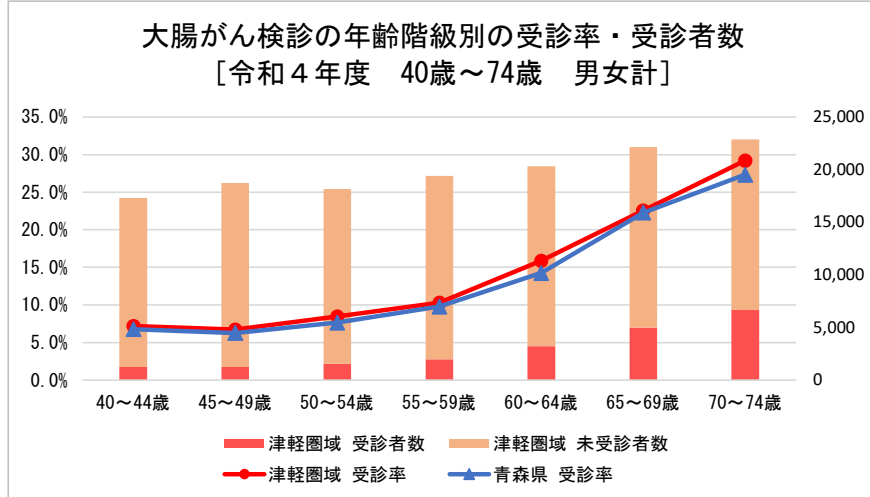
### <大腸がん検診の受診率 [令和4年度 40歳～74歳 男女計] >

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
受診率	8.8%	14.3%	10.9%	15.5%	11.8%	23.1%	16.5%	14.2%	10.4%	12.5%	10.6%	18.5%	18.5%	17.1%	9.3%	11.9%	29.8%	19.2%
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	39位	34位	38位	20位	21位	26位	40位	36位	2位	17位
受診者数	5,225,663	88,551	16,445	20,942	18,289	14,238	13,604	5,033	14,480	10,122	11,645	3,006	4,922	5,188	1,681	3,330	4,471	2,922
対象者数	59,304,767	620,271	150,336	135,405	154,708	61,736	82,597	35,489	139,283	81,296	109,582	16,262	26,654	30,268	17,987	27,928	14,991	15,182
区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱒ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
受診率	17.4%	18.5%	22.1%	16.2%	21.4%	27.9%	33.8%	16.8%	28.1%	25.0%	19.3%	26.9%	20.6%	12.7%	23.1%	14.5%	18.0%	24.1%
順位	25位	19位	11位	29位	13位	4位	1位	27位	3位	7位	16位	6位	14位	33位	10位	30位	22位	8位
受診者数	979	216	297	473	1,037	1,080	202	1,211	1,283	926	1,270	1,636	1,092	805	1,772	781	370	1,986
対象者数	5,624	1,168	1,343	2,918	4,854	3,868	597	7,212	4,572	3,698	6,586	6,076	5,293	6,343	7,683	5,368	2,056	8,226
区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村						
受診率	21.9%	14.5%	17.5%	27.9%	17.9%	23.2%	13.6%	12.2%	16.5%	19.1%	11.8%	20.1%						
順位	12位	31位	24位	5位	23位	9位	32位	35位	28位	18位	37位	15位						
受診者数	1,021	1,825	455	858	167	223	647	1,009	434	1,674	828	227						
対象者数	4,666	12,545	2,594	3,073	934	960	4,755	8,288	2,630	8,759	7,018	1,131						

[受診率の計算方法について]  
受診者数÷対象者数=受診率  
※他のプロセス指標に合わせ、75歳未満の受診率を計算しているため他の統計の受診率と異なる。

(出典：R4年度地域保健・健康増進事業報告) ※対象者数(分母)は対象年齢の全住民で、受診者数(分子)は市町村事業の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。

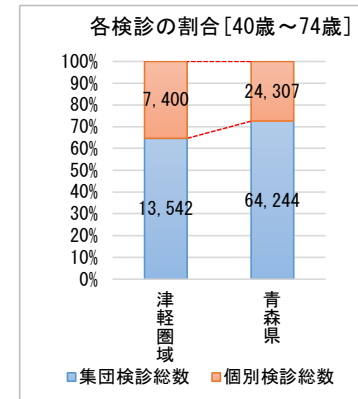
2. 大腸がん検診の受診者の状況



<大腸がん検診の年齢階級別の受診者数・受診率 [令和4年度 男女計] >

区分		40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～69歳	40～74歳
津軽圏域	対象者数	17,316	18,741	18,150	19,421	20,332	22,124	22,876	47,258		186,218	116,084	138,960
津軽圏域	受診者数	1,247	1,259	1,540	1,997	3,225	4,994	6,680	4,638	4,234	29,814	14,262	20,942
津軽圏域	初回受診者数	693	291	329	362	594	759	692	447	454	4,621	3,028	3,720
津軽圏域	非初回受診者数	552	966	1,209	1,632	2,629	4,218	5,963	4,177	3,754	25,100	11,206	17,169
津軽圏域	受診歴不明	2	2	2	3	2	17	25	14	26	93	28	53
津軽圏域	受診率	7.2%	6.7%	8.5%	10.3%	15.9%	22.6%	29.2%	18.8%		16.0%	12.3%	15.1%
青森県	対象者数	72,772	85,438	86,779	82,480	89,672	95,230	107,900	220,023		840,294	512,371	620,271
青森県	受診者数	4,935	5,369	6,656	8,074	12,786	21,233	29,498	20,446	18,071	127,068	59,053	88,551
青森県	初回受診者数	2,472	1,353	1,719	1,874	2,772	3,717	3,349	2,225	2,082	21,563	13,907	17,256
青森県	非初回受診者数	2,430	3,976	4,898	6,148	9,949	17,384	25,976	18,144	15,913	104,818	44,785	70,761
青森県	受診歴不明	33	40	39	52	65	132	173	77	76	687	361	534
青森県	受診率	6.8%	6.3%	7.7%	9.8%	14.3%	22.3%	27.3%	17.5%		15.1%	11.5%	14.3%

※初回受診者＝過去3年間に受診歴がない者  
 ※非初回受診者＝過去3年間に受診歴がある者



※受診者数はR4年度の受診者数である。

※初回受診者数と非初回受診者数の合計が受診者数と一致しない、または初回受診者数と非初回受診者数を計上していない市町村があるため、そのような場合は受診歴不明として計上している。

※対象者数から受診者数を除いた人数を未受診者数と定義しているが、実際は職場や人間ドック等でがん検診を受診している者が含まれている。

※50代及び60代の節目年齢を対象に、大腸がん検診未受診者対策事業を実施した市町村が8市町村ある。

(出典：R4年度地域保健・健康増進事業報告)



# 個別事項「プロセス指標」 (別紙6とは対象年度が異なる点に留意)

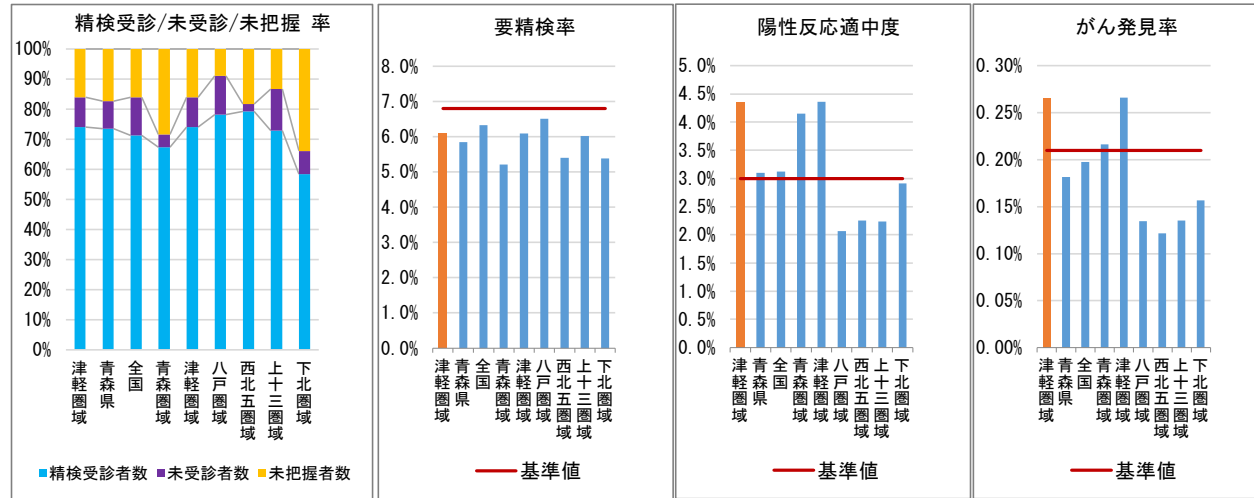
別紙6\_参考2

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項  
[令和6年12月11日付け青が生第1716号通知]

## 令和元～令和3年度 大腸がん検診プロセス指標 - 受診率を除く -

自治体名	津軽圏域
------	------

### 1. 大腸がん検診のプロセス指標 (受診率を除く)



指標の意義・一般的な対策	
精検受診率 未受診率 未把握率	<ul style="list-style-type: none"> <li>要精検者の精検受診状況を測る指標です。</li> <li>精検受診率が低ければ、死亡率減少につながらないため、検診受診率よりも精検受診率向上が優先されます。また、100%に近くなければ、がん発見率等を適切に評価できません。</li> <li>精検結果回収の仕組みを整備し、精検未受診・未把握を適切に分類して、精検受診勧奨に取り組むことで、精検受診率100%に向けて取り組む必要があります。</li> </ul>
要精検率	<ul style="list-style-type: none"> <li>検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標です。対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。</li> <li>要精検率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。</li> </ul>
陽性反応適中度	<ul style="list-style-type: none"> <li>検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。</li> <li>陽性反応適中度が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。</li> </ul>
がん発見率	<ul style="list-style-type: none"> <li>検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。</li> <li>がん発見率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。</li> </ul>

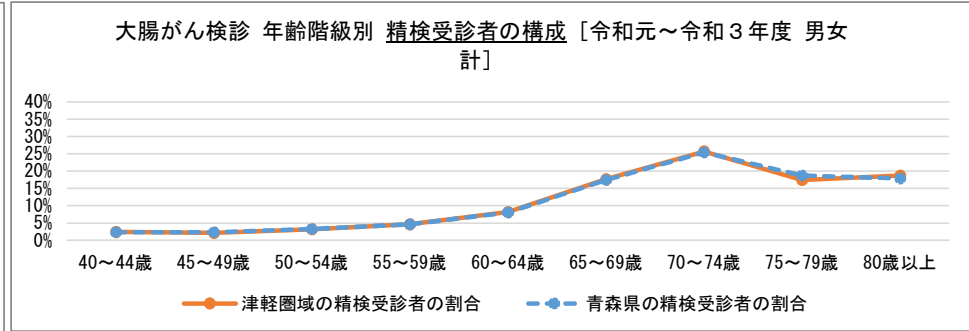
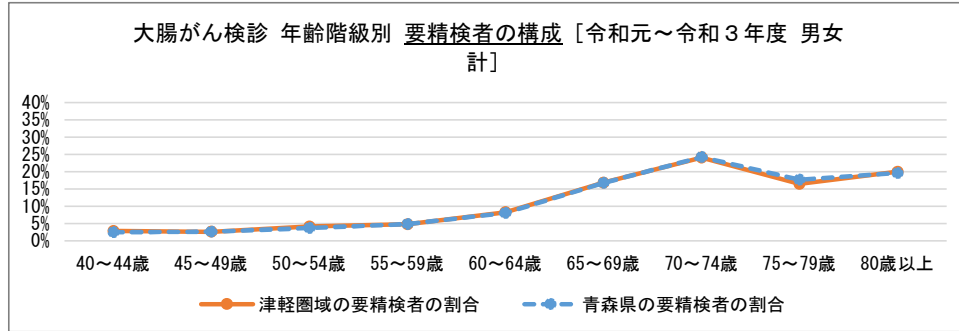
### <大腸がん検診のプロセス指標 [令和元～令和3年度 40歳～74歳 男女計]>

区分	津軽圏域	青森県	全国	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	基準値
受診者数	66,196	275,073	16,139,128	53,627	66,196	55,776	41,919	42,238	15,317	—
要精検者数	4,035	16,093	1,021,353	2,794	4,035	3,631	2,264	2,545	824	—
未把握者数	651	2,798	164,975	794	651	324	413	337	279	—
未受診者数	395	1,459	128,579	118	395	470	58	354	64	—
精検受診者数	2,989	11,836	727,799	1,882	2,989	2,837	1,793	1,854	481	—
がんであった者	176	499	31,880	116	176	75	51	57	24	—
要精検率	6.1%	5.9%	6.3%	5.2%	6.1%	6.5%	5.4%	6.0%	5.4%	6.8% 以下
精検受診率	74.1%	73.5%	71.3%	67.4%	74.1%	78.1%	79.2%	72.8%	58.4%	90% 以上
未受診率+未把握率	25.9%	26.5%	28.7%	32.6%	25.9%	21.9%	20.8%	27.2%	41.6%	10% 以下
陽性反応適中度	4.4%	3.1%	3.1%	4.2%	4.4%	2.1%	2.3%	2.2%	2.9%	3.0% 以上
がん発見率	0.27%	0.18%	0.20%	0.22%	0.27%	0.13%	0.12%	0.13%	0.16%	0.21% 以上

[計算方法] ●要精検率=精検受診者数÷受診者数、●精検受診率=精検受診者数÷要精検者数、●未受診率=未受診者数÷要精検者数、●未把握率=未把握者数÷要精検者数、●陽性反応適中度=がんであった者÷要精検者数、●がん発見率=がんであった者÷受診者数

(出典：R2～R4年度地域保健・健康増進事業報告)

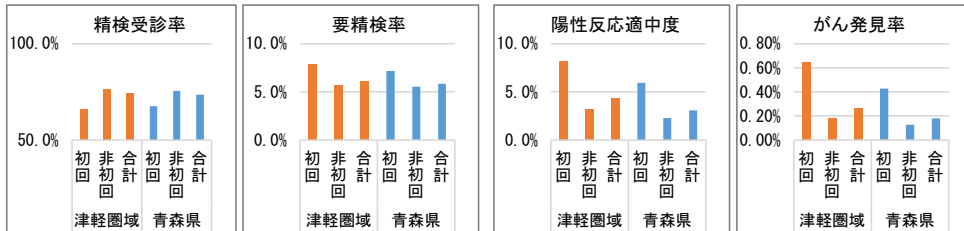
2. 大腸がん検診の年齢階級別・受診歴別・検診方式別のプロセス指標



<大腸がん検診の年齢階級別の要精検者数・精検受診者数・精検受診率 [令和元～令和3年度 男女計] >

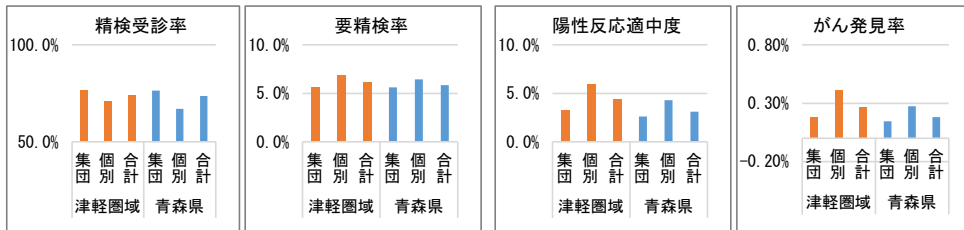
区分	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～74歳
津軽圏域 要精検者数	181	166	264	304	524	1,068	1,528	1,045	1,265	6,345	4,035
津軽圏域 精検受診者数	113	101	149	215	382	826	1,203	818	877	4,684	2,989
津軽圏域 精検受診率	62.4%	60.8%	56.4%	70.7%	72.9%	77.3%	78.7%	78.3%	69.3%	73.8%	74.1%
青森県 要精検者数	645	671	961	1,249	2,061	4,292	6,214	4,544	5,038	25,675	16,093
青森県 精検受診者数	433	431	611	858	1,503	3,255	4,745	3,500	3,339	18,675	11,836
青森県 精検受診率	67.1%	64.2%	63.6%	68.7%	72.9%	75.8%	76.4%	77.0%	66.3%	72.7%	73.5%

<大腸がん検診の受診歴別のプロセス指標 [令和元～令和3年度 40歳～74歳 男女計] >



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
津軽圏域 初回	11,138	878	579	72	7.9%	65.9%	8.2%	0.65%
津軽圏域 非初回	54,883	3,132	2,388	101	5.7%	76.2%	3.2%	0.18%
津軽圏域 合計	66,196	4,035	2,989	176	6.1%	74.1%	4.4%	0.27%
青森県 初回	49,076	3,525	2,382	210	7.2%	67.6%	6.0%	0.43%
青森県 非初回	221,846	12,296	9,290	282	5.5%	75.6%	2.3%	0.13%
青森県 合計	275,073	16,093	11,836	499	5.9%	73.5%	3.1%	0.18%

<大腸がん検診の検診方式別のプロセス指標 [令和元～令和3年度 40歳～74歳 男女計] >



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
津軽圏域 集団検診	41,157	2,305	1,759	74	5.6%	76.3%	3.2%	0.18%
津軽圏域 個別検診	25,039	1,730	1,230	102	6.9%	71.1%	5.9%	0.41%
津軽圏域 合計	66,196	4,035	2,989	176	6.1%	74.1%	4.4%	0.27%
青森県 集団検診	199,768	11,240	8,590	292	5.6%	76.4%	2.6%	0.15%
青森県 個別検診	75,305	4,853	3,246	207	6.4%	66.9%	4.3%	0.27%
青森県 合計	275,073	16,093	11,836	499	5.9%	73.5%	3.1%	0.18%

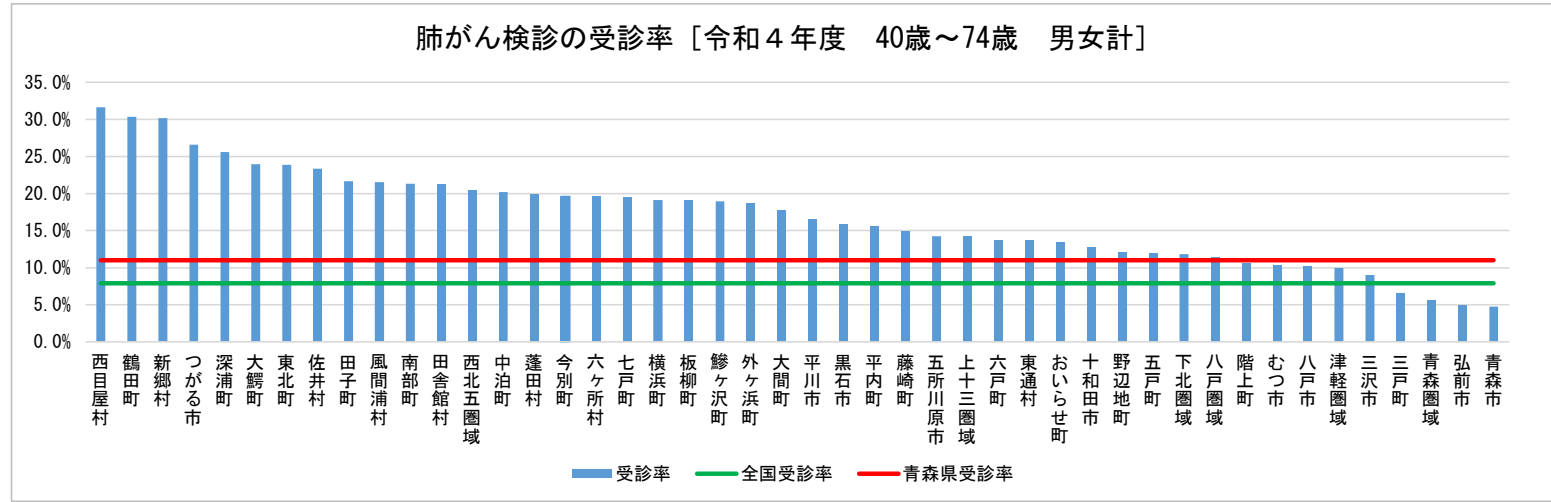
# 個別事項「プロセス指標」

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項  
[令和6年12月11日付け青が生第1716号通知]

## 令和4年度 肺がん検診プロセス指標 - 受診率 -

自治体名	津軽圏域
------	------

### 1. 肺がん検診の受診率



**指標の意義・一般的な対策**

- ・受診率は、高い方が望ましい指標です。精度管理により検診の質を高めた上で、受診率を上げていく必要があります。
- ・性別・年齢階級別/検診機関別/検診歴別(初回・非初回別)の集計・分析は、課題を検討し、対策を講じるうえで必要となるため、台帳の電子システム化等により行えるようにすることが必要です。
- ・特定の年齢層の受診率が低い場合や、初回受診者が少ない場合、個別の受診勧奨・再勧奨の実施や、検診の提供体制(キャパシティ、利便性等)の改善について検討が必要です。

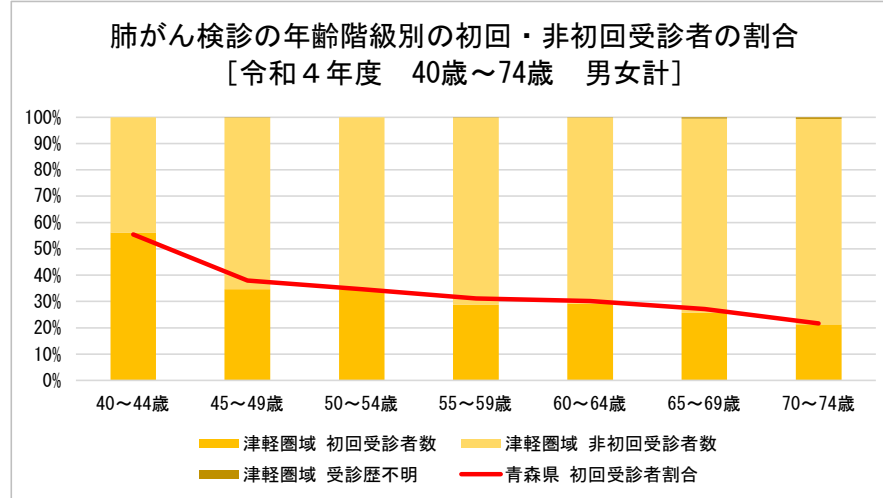
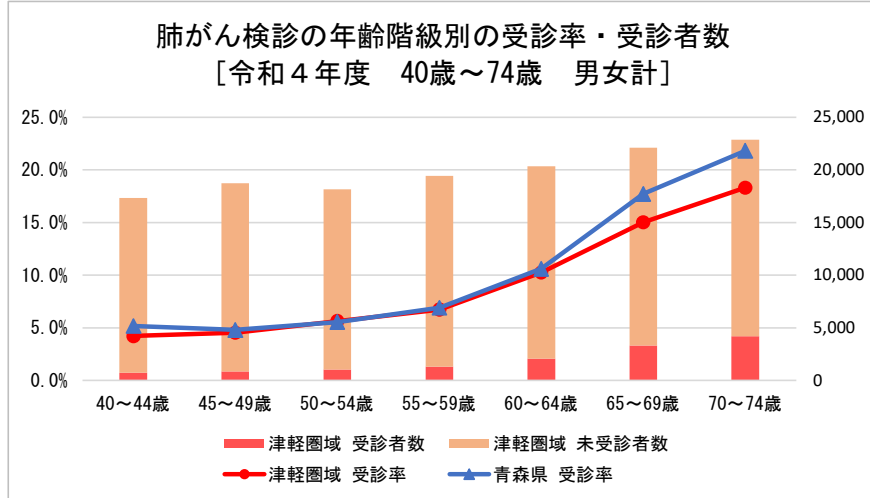
### <肺がん検診の受診率 [令和4年度 40歳～74歳 男女計] >

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
受診率	7.9%	11.0%	5.7%	10.0%	11.4%	20.4%	14.2%	11.8%	4.7%	4.9%	10.2%	15.9%	14.2%	12.7%	9.0%	10.3%	26.6%	16.6%
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	40位	39位	36位	24位	27位	31位	37位	35位	4位	23位
受診者数	4,698,356	68,261	8,529	13,503	17,684	12,607	11,748	4,190	6,614	4,010	11,174	2,579	3,796	3,859	1,625	2,885	3,988	2,519
対象者数	59,297,773	620,270	150,336	135,405	154,708	61,735	82,597	35,489	139,283	81,296	109,582	16,262	26,653	30,268	17,987	27,928	14,991	15,182
区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱈ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
受診率	15.5%	19.6%	19.9%	18.7%	19.0%	25.6%	31.7%	14.9%	23.9%	21.3%	19.0%	30.3%	20.2%	12.1%	19.4%	13.7%	19.1%	23.9%
順位	25位	15位	14位	21位	20位	5位	1位	26位	6位	12位	19位	2位	13位	32位	17位	28位	18位	7位
受診者数	873	229	267	546	920	990	189	1,073	1,094	786	1,253	1,844	1,069	769	1,491	735	393	1,962
対象者数	5,624	1,168	1,343	2,918	4,854	3,868	597	7,212	4,572	3,698	6,586	6,076	5,293	6,343	7,683	5,368	2,056	8,226
区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村						
受診率	19.6%	13.5%	17.8%	13.6%	21.5%	23.3%	6.5%	11.9%	21.7%	21.3%	10.6%	30.2%						
順位	16位	30位	22位	29位	10位	8位	38位	33位	9位	11位	34位	3位						
受診者数	914	1,691	461	419	201	224	311	988	570	1,867	742	341						
対象者数	4,666	12,545	2,594	3,073	934	960	4,755	8,288	2,630	8,759	7,018	1,131						

[受診率の計算方法について]  
受診者数÷対象者数=受診率  
※他のプロセス指標に合わせ、75歳未満の受診率を計算しているため他の統計の受診率と異なる。

(出典：R4年度地域保健・健康増進事業報告) ※対象者数(分母)は対象年齢の全住民で、受診者数(分子)は市町村事業の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。

2. 肺がん検診の受診者の状況



<肺がん検診の年齢階級別の受診者数・受診率 [令和4年度 男女計]>

区分		40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～69歳	40～74歳
津軽圏域	対象者数	17,316	18,741	18,150	19,421	20,332	22,124	22,876	47,258		186,218	116,084	138,960
津軽圏域	受診者数	730	851	1,024	1,307	2,083	3,322	4,186	2,625	2,116	18,244	9,317	13,503
津軽圏域	初回受診者数	410	295	353	375	607	851	893	495	479	4,758	2,891	3,784
津軽圏域	非初回受診者数	320	555	671	930	1,472	2,456	3,269	2,117	1,607	13,397	6,404	9,673
津軽圏域	受診歴不明	0	1	0	2	4	15	24	13	30	89	22	46
津軽圏域	受診率	4.2%	4.5%	5.6%	6.7%	10.2%	15.0%	18.3%	10.0%		9.8%	8.0%	9.7%
青森県	対象者数	72,772	85,437	86,779	82,480	89,672	95,230	107,900	220,025		840,295	512,370	620,270
青森県	受診者数	3,755	4,098	4,810	5,696	9,506	16,868	23,528	15,418	12,299	95,978	44,733	68,261
青森県	初回受診者数	2,083	1,554	1,670	1,772	2,866	4,571	5,101	3,405	2,841	25,863	14,516	19,617
青森県	非初回受診者数	1,643	2,508	3,097	3,878	6,570	12,175	18,266	11,944	9,387	69,468	29,871	48,137
青森県	受診歴不明	29	36	43	46	70	122	161	69	71	647	346	507
青森県	受診率	5.2%	4.8%	5.5%	6.9%	10.6%	17.7%	21.8%	12.6%		11.4%	8.7%	11.0%

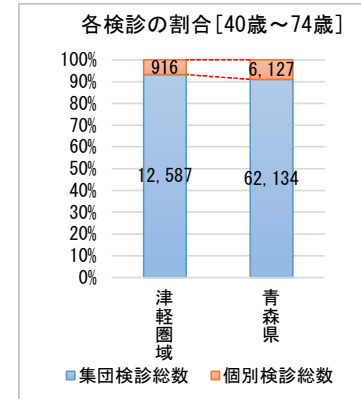
※受診者数はR4年度の受診者数である。

※初回受診者数と非初回受診者数の合計が受診者数と一致しない、または初回受診者数と非初回受診者数を計上していない市町村があるため、そのような場合は受診歴不明として計上している。

※対象者数から受診者数を除いた人数を未受診者数と定義しているが、実際は職場や人間ドック等でがん検診を受診している者が含まれている。

※初回受診者＝前年に受診歴がない者

※非初回受診者＝前年に受診歴がある者



# 個別事項「プロセス指標」 (別紙7とは対象年度が異なる点に留意)

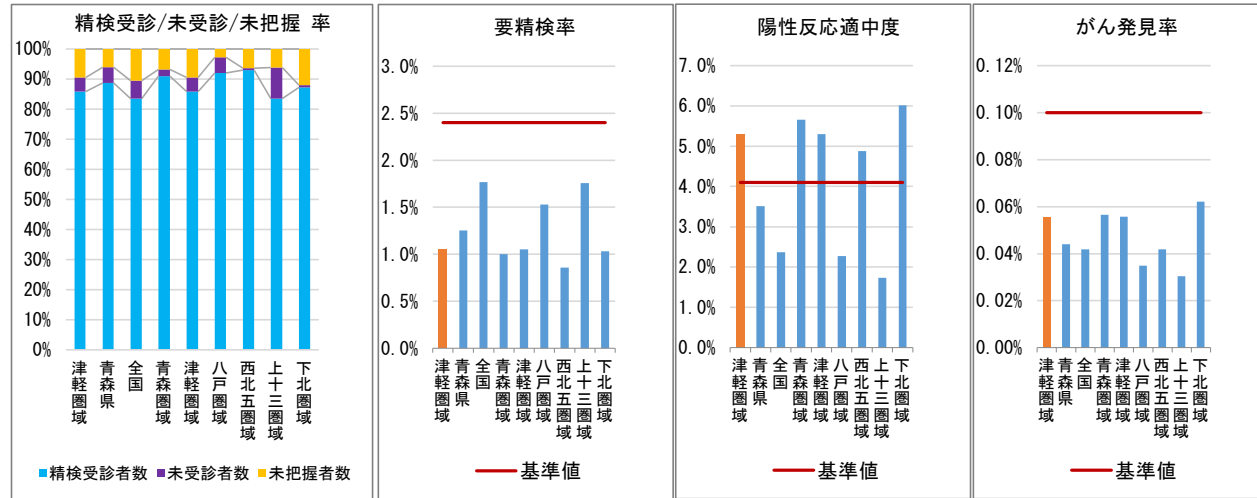
別紙7\_参考2

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項  
[令和6年12月11日付け青が生第1716号通知]

## 令和元～令和3年度 肺がん検診プロセス指標 - 受診率を除く -

自治体名	津軽圏域
------	------

### 1. 肺がん検診のプロセス指標 (受診率を除く)



※基準値以下で極端な高低がないこと ※基準値以上で極端な高低がないこと ※基準値以上で極端な高低がないこと

### <肺がん検診のプロセス指標 [令和元～令和3年度 40歳～74歳 男女計]>

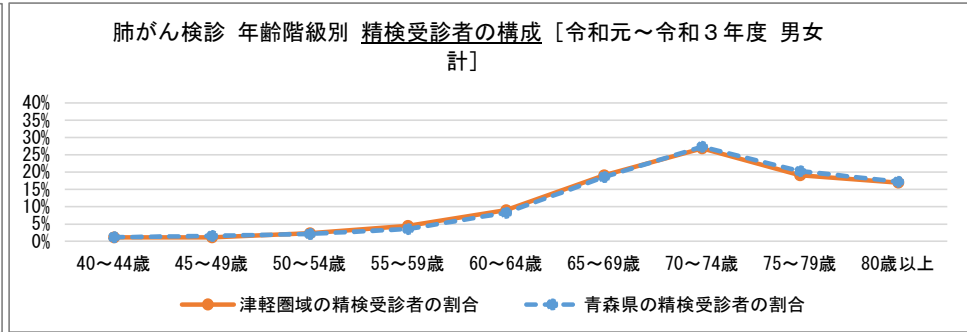
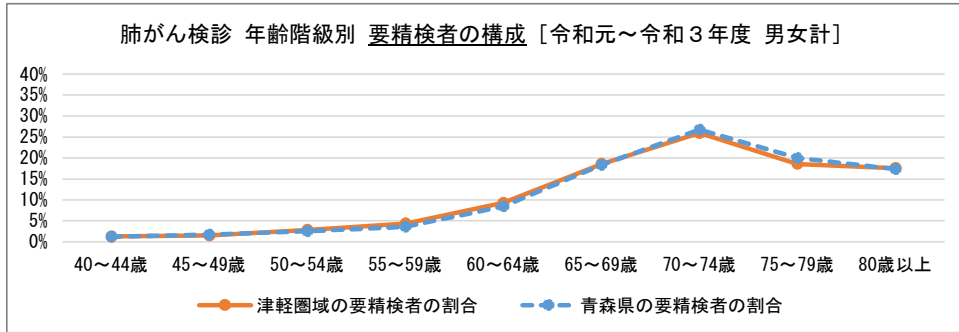
区分	津軽圏域	青森県	全国	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	基準値
受診者数	43,091	211,458	14,394,133	26,514	43,091	54,521	38,206	36,234	12,892	—
要精検者数	453	2,649	254,399	265	453	834	328	636	133	—
未把握者数	43	160	26,930	18	43	23	21	39	16	—
未受診者数	21	140	15,136	6	21	44	2	66	1	—
精検受診者数	389	2,349	212,333	241	389	767	305	531	116	—
がんであった者	24	93	6,027	15	24	19	16	11	8	—
要精検率	1.1%	1.3%	1.8%	1.0%	1.1%	1.5%	0.9%	1.8%	1.0%	2.4% 以下
精検受診率	85.9%	88.7%	83.5%	90.9%	85.9%	92.0%	93.0%	83.5%	87.2%	90% 以上
未受診率+未把握率	4.6%	5.3%	5.9%	2.3%	4.6%	5.3%	0.6%	10.4%	0.8%	10% 以下
陽性反応適中度	5.3%	3.5%	2.4%	5.7%	5.3%	2.3%	4.9%	1.7%	6.0%	4.1% 以上
がん発見率	0.06%	0.04%	0.04%	0.06%	0.06%	0.03%	0.04%	0.03%	0.06%	0.10% 以上

指標の意義・一般的な対策	
精検受診率 未受診率 未把握率	<ul style="list-style-type: none"> <li>要精検者の精検受診状況を測る指標です。</li> <li>精検受診率が低ければ、死亡率減少につながらないため、検診受診率よりも精検受診率向上が優先されます。また、100%に近くなければ、がん発見率等を適切に評価できません。</li> <li>精検結果回収の仕組みを整備し、精検未受診・未把握を適切に分類して、精検受診勧奨に取り組むことで、精検受診率100%に向けて取り組む必要があります。</li> </ul>
要精検率	<ul style="list-style-type: none"> <li>検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標です。対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。</li> <li>要精検率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。</li> </ul>
陽性反応適中度	<ul style="list-style-type: none"> <li>検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。</li> <li>陽性反応適中度が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。</li> </ul>
がん発見率	<ul style="list-style-type: none"> <li>検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。</li> <li>がん発見率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。</li> </ul>

[計算方法] ●要精検率=精検受診者数÷受診者数、●精検受診率=精検受診者数÷要精検者数、●未受診率=未受診者数÷要精検者数、●未把握率=未把握者数÷要精検者数、●陽性反応適中度=がんであった者÷要精検者数、●がん発見率=がんであった者÷受診者数

(出典：R2～R4年度地域保健・健康増進事業報告)

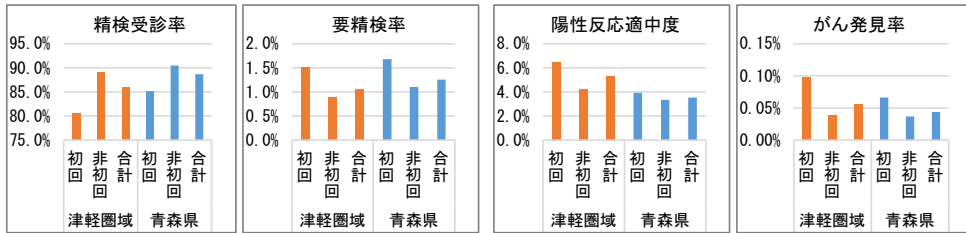
2. 肺がん検診の年齢階級別・受診歴別・検診方式別のプロセス指標



<肺がん検診の年齢階級別の要精検者数・精検受診者数・精検受診率 [令和元～令和3年度 男女計]>

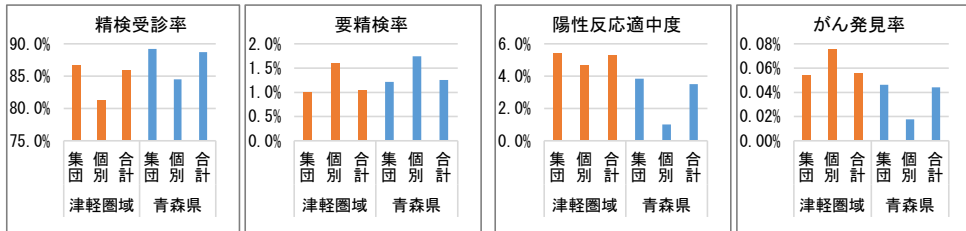
区分	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～74歳
津軽圏域 要精検者数	9	11	20	31	66	132	184	132	125	710	453
津軽圏域 精検受診者数	7	7	14	27	55	116	163	116	103	608	389
津軽圏域 精検受診率	77.8%	63.6%	70.0%	87.1%	83.3%	87.9%	88.6%	87.9%	82.4%	85.6%	85.9%
青森県 要精検者数	52	72	107	153	359	775	1,131	844	734	4,227	2,649
青森県 精検受診者数	44	59	81	132	309	697	1,027	763	647	3,759	2,349
青森県 精検受診率	84.6%	81.9%	75.7%	86.3%	86.1%	89.9%	90.8%	90.4%	88.1%	88.9%	88.7%

<肺がん検診の受診歴別のプロセス指標 [令和元～令和3年度 40歳～74歳 男女計]>



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
津軽圏域 初回	11,334	170	137	11	1.5%	80.6%	6.5%	0.10%
津軽圏域 非初回	31,410	282	251	12	0.9%	89.0%	4.3%	0.04%
津軽圏域 合計	43,091	453	389	24	1.1%	85.9%	5.3%	0.06%
青森県 初回	53,124	892	760	35	1.7%	85.2%	3.9%	0.07%
青森県 非初回	154,343	1,702	1,540	57	1.1%	90.5%	3.3%	0.04%
青森県 合計	211,458	2,649	2,349	93	1.3%	88.7%	3.5%	0.04%

<肺がん検診の検診方式別のプロセス指標 [令和元～令和3年度 40歳～74歳 男女計]>



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
津軽圏域 集団検診	39,101	389	337	21	1.0%	86.6%	5.4%	0.05%
津軽圏域 個別検診	3,990	64	52	3	1.6%	81.3%	4.7%	0.08%
津軽圏域 合計	43,091	453	389	24	1.1%	85.9%	5.3%	0.06%
青森県 集団検診	194,376	2,352	2,098	90	1.2%	89.2%	3.8%	0.05%
青森県 個別検診	17,082	297	251	3	1.7%	84.5%	1.0%	0.02%
青森県 合計	211,458	2,649	2,349	93	1.3%	88.7%	3.5%	0.04%

(出典：R2～R4年度地域保健・健康増進事業報告)

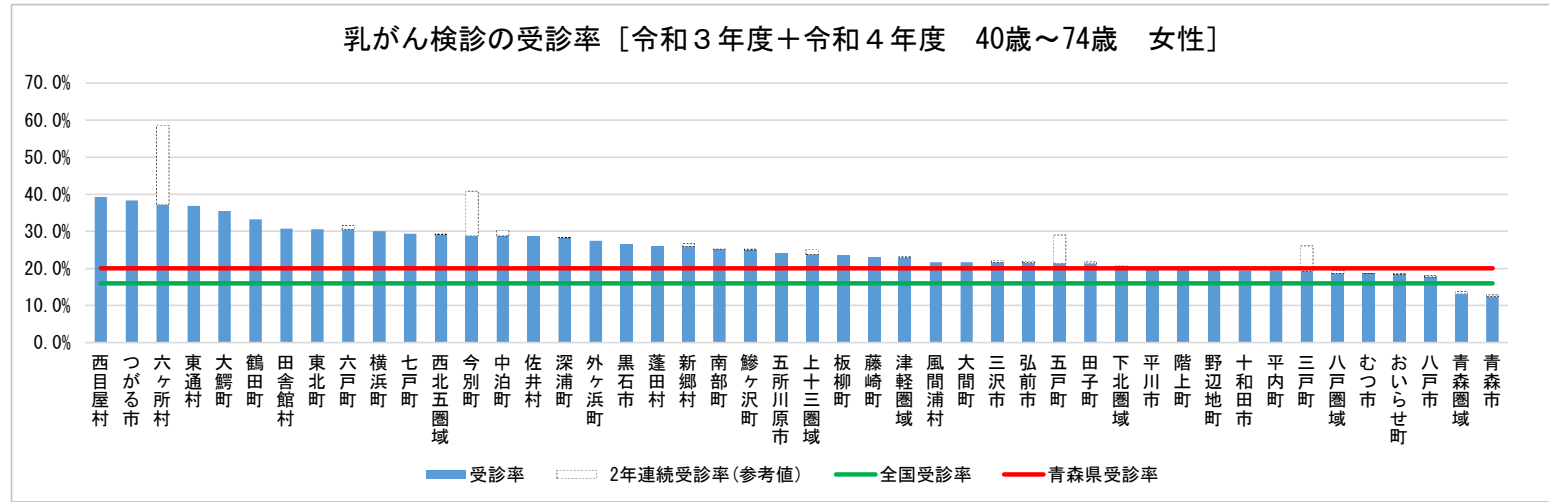
# 個別事項「プロセス指標」

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項  
 [令和6年12月11日付け青が生第1716号通知]

## 令和4年度 乳がん検診プロセス指標 - 受診率 -

自治体名	津軽圏域
------	------

### 1. 乳がん検診の受診率



**指標の意義・一般的な対策**

- ・受診率は、高い方が望ましい指標です。受診間隔（2年に1回）を遵守し、精度管理により検診の質を高めた上で、受診率を上げていく必要があります。
- ・性別・年齢階級別/検診機関別/検診歴別（初回・非初回別）の集計・分析は、課題を検討し、対策を講じるうえで必要となるため、台帳の電子システム化等により行えるようにすることが必要です。
- ・特定の年齢層の受診率が低い場合や、初回受診者が少ない場合、個別の受診勧奨・再勧奨の実施や、検診の提供体制（キャパシティ、利便性等）の改善について検討が必要です。

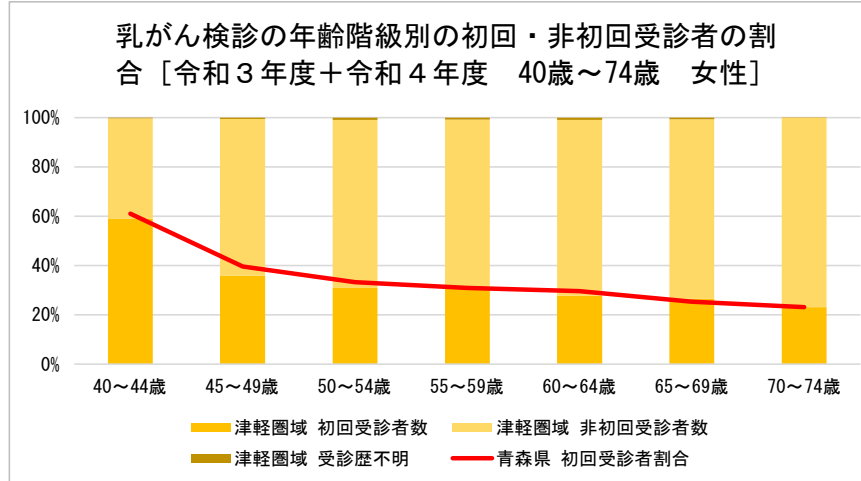
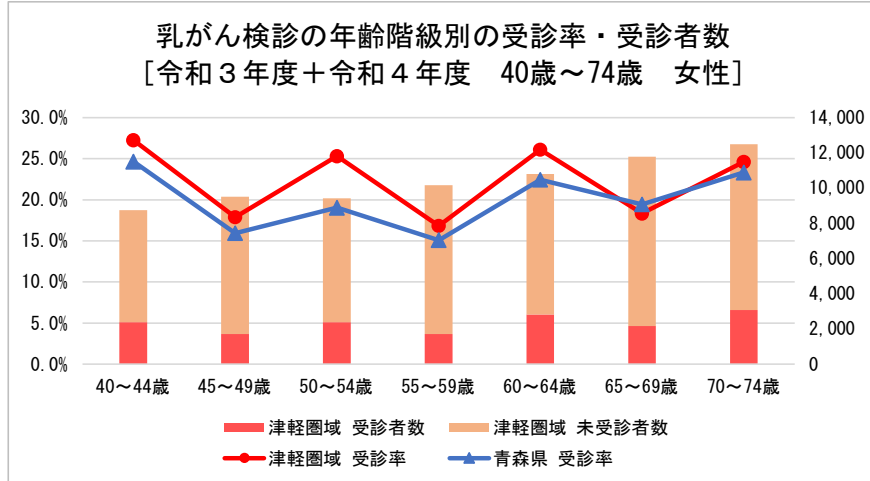
### <乳がん検診の受診率 [令和3年度+令和4年度 40歳~74歳 女性]>

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
受診率	16.0%	20.1%	13.2%	22.9%	18.6%	29.1%	23.8%	20.6%	12.5%	21.5%	17.7%	26.7%	24.1%	19.4%	21.6%	18.6%	38.3%	19.9%
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	40位	28位	39位	17位	22位	34位	27位	37位	2位	31位
受診者数	4,764,098	63,812	10,348	16,235	14,626	9,233	9,742	3,628	9,081	9,270	9,985	2,259	3,386	2,976	1,929	2,630	2,923	1,549
対象者数	29,803,708	317,840	78,156	70,836	78,556	31,724	40,947	17,621	72,718	43,046	56,338	8,468	14,041	15,323	8,947	14,127	7,628	7,782
区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱈ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
受診率	19.4%	28.8%	26.0%	27.5%	24.9%	28.2%	39.2%	23.1%	35.5%	30.8%	23.5%	33.2%	28.8%	19.7%	29.4%	30.5%	30.1%	30.6%
順位	35位	12位	18位	16位	21位	15位	1位	24位	5位	7位	23位	6位	13位	33位	11位	9位	10位	8位
受診者数	539	160	178	390	612	537	111	845	826	573	802	1,015	760	631	1,102	790	293	1,227
対象者数	2,780	556	684	1,418	2,453	1,902	283	3,657	2,330	1,863	3,407	3,058	2,642	3,211	3,753	2,590	974	4,016
区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村						
受診率	37.2%	18.4%	21.6%	36.9%	21.7%	28.7%	19.3%	21.4%	21.3%	25.1%	19.8%	25.9%						
順位	3位	38位	26位	4位	25位	14位	36位	29位	30位	20位	32位	19位						
受診者数	794	1,165	266	513	96	123	446	868	273	1,086	669	134						
対象者数	2,133	6,345	1,231	1,392	443	428	2,315	4,064	1,281	4,322	3,374	517						

[受診率の計算方法について]  
 $(R4年度の受診者数 - R4年度の2年連続受診者数 + R3年度の受診者数) \div R4年度の対象者数 = 受診率$   
 ※他のプロセス指標に合わせ、75歳未満の受診率を計算しているため他の統計の受診率と異なる。

(出典：R4年度地域保健・健康増進事業報告) ※対象者数(分母)は対象年齢の全住民で、受診者数(分子)は市町村事業の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。

2. 乳がん検診の受診者の状況



<乳がん検診の年齢階級別の受診者数・受診率 [令和3年度+令和4年度 女性]>

区分		40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～69歳	40～74歳
津軽圏域	対象者数	8,747	9,515	9,411	10,152	10,798	11,785	12,492			72,900	60,408	72,900
津軽圏域	受診者数	2,385	1,702	2,382	1,709	2,820	2,161	3,076	1,054	789	18,078	13,159	16,235
津軽圏域	初回受診者数	1,408	611	736	522	783	573	714	249	233	5,829	4,633	5,347
津軽圏域	非初回受診者数	970	1,081	1,622	1,173	2,011	1,574	2,359	803	556	12,149	8,431	10,790
津軽圏域	受診歴不明	7	10	24	14	26	14	3	2	0	100	95	98
津軽圏域	受診率	27.3%	17.9%	25.3%	16.8%	26.1%	18.3%	24.6%				21.8%	22.3%
青森県	対象者数	35,725	42,211	43,689	42,212	46,238	49,920	57,845			317,840	259,995	317,840
青森県	受診者数	8,803	6,737	8,314	6,372	10,380	9,712	13,494	5,218	3,502	72,532	50,318	63,812
青森県	初回受診者数	5,377	2,668	2,762	1,973	3,065	2,460	3,125	1,193	943	23,566	18,305	21,430
青森県	非初回受診者数	3,379	4,022	5,479	4,338	7,243	7,163	10,297	4,006	2,547	48,474	31,624	41,921
青森県	受診歴不明	47	47	73	61	72	89	72	19	12	492	389	461
青森県	受診率	24.6%	16.0%	19.0%	15.1%	22.4%	19.5%	23.3%				19.4%	20.1%

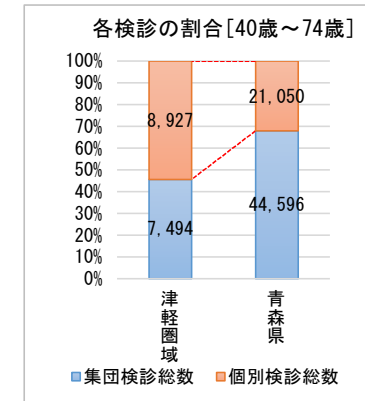
※受診者数はR3年度とR4年度の受診者数の合計からR4年度の2年連続受診者数を除いた人数である。

※初回受診者数と非初回受診者数の合計が受診者数と一致しない、または初回受診者数と非初回受診者数を計上していない市町村があるため、そのような場合は受診歴不明として計上している。

※対象者数から受診者数を除いた人数を未受診者数と定義しているが、実際は職場や人間ドック等でがん検診を受診している者が含まれている。

※初回受診者＝過去3年間に受診歴がない者

※非初回受診者＝過去3年間に受診歴がある者





# 個別事項「プロセス指標」 (別紙8とは対象年度が異なる点に留意)

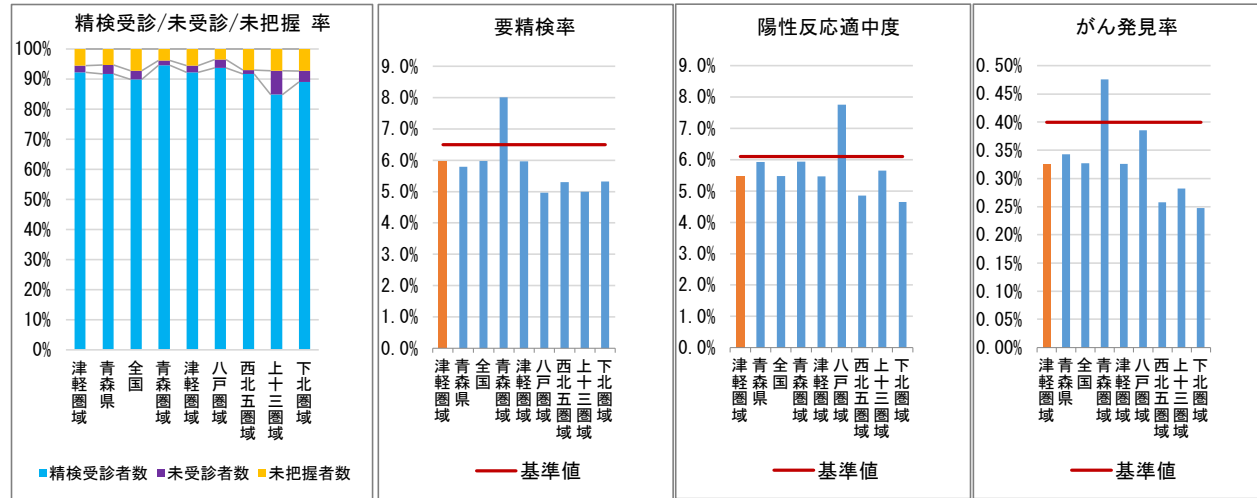
別紙8\_参考2

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項  
[令和6年12月11日付け青が生第1716号通知]

## 令和元～令和3年度 乳がん検診プロセス指標 - 受診率を除く -

自治体名	津軽圏域
------	------

### 1. 乳がん検診のプロセス指標 (受診率を除く)



※基準値以下で極端な高低がないこと ※基準値以上で極端な高低がないこと ※基準値以上で極端な高低がないこと

### <乳がん検診のプロセス指標 [令和元～令和3年度 40歳～74歳 女性]>

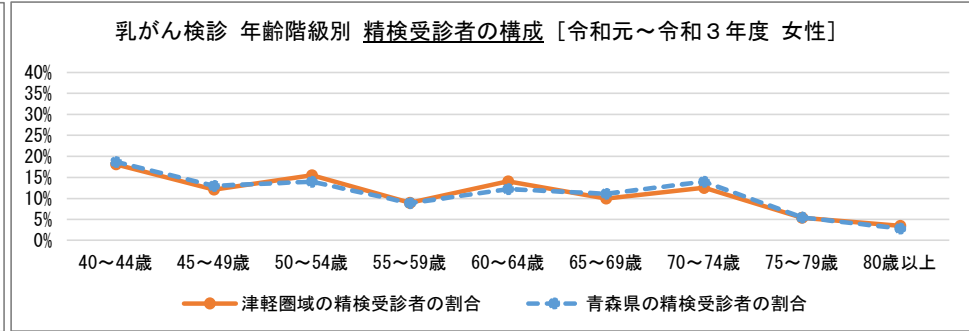
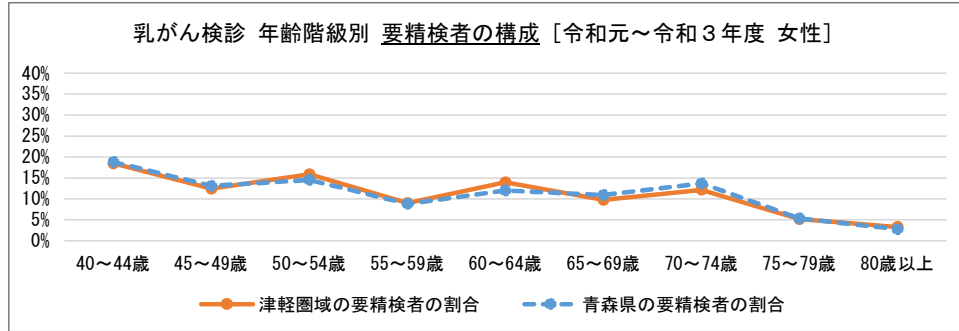
区分	津軽圏域	青森県	全国	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	基準値
受診者数	25,141	99,690	7,764,769	16,394	25,141	22,566	13,962	15,966	5,661	—
要精検者数	1,500	5,773	464,168	1,313	1,500	1,121	741	797	301	—
未把握者数	84	305	33,347	50	84	39	52	58	22	—
未受診者数	33	170	13,492	22	33	32	9	63	11	—
精検受診者数	1,383	5,298	417,329	1,241	1,383	1,050	680	676	268	—
がんであった者	82	342	25,405	78	82	87	36	45	14	—
要精検率	6.0%	5.8%	6.0%	8.0%	6.0%	5.0%	5.3%	5.0%	5.3%	6.5% 以下
精検受診率	92.2%	91.8%	89.9%	94.5%	92.2%	93.7%	91.8%	84.8%	89.0%	90% 以上
未受診率+未把握率	7.8%	8.2%	10.1%	5.5%	7.8%	6.3%	8.2%	15.2%	11.0%	10% 以下
陽性反応適中度	5.5%	5.9%	5.5%	5.9%	5.5%	7.8%	4.9%	5.6%	4.7%	6.1% 以上
がん発見率	0.33%	0.34%	0.33%	0.48%	0.33%	0.39%	0.26%	0.28%	0.25%	0.40% 以上

指標の意義・一般的な対策	
精検受診率 未受診率 未把握率	<ul style="list-style-type: none"> <li>要精検者の精検受診状況を測る指標です。</li> <li>精検受診率が低ければ、死亡率減少につながらないため、検診受診率よりも精検受診率向上が優先されます。また、100%に近くなければ、がん発見率等を適切に評価できません。</li> <li>精検結果回収の仕組みを整備し、精検未受診・未把握を適切に分類して、精検受診勧奨に取り組むことで、精検受診率100%に向けて取り組む必要があります。</li> </ul>
要精検率	<ul style="list-style-type: none"> <li>検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標です。対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。</li> <li>要精検率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。</li> </ul>
陽性反応適中度	<ul style="list-style-type: none"> <li>検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。</li> <li>陽性反応適中度が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。</li> </ul>
がん発見率	<ul style="list-style-type: none"> <li>検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。</li> <li>がん発見率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。</li> </ul>

[計算方法] ●要精検率=精検受診者数÷受診者数、●精検受診率=精検受診者数÷要精検者数、●未受診率=未受診者数÷要精検者数、●未把握率=未把握者数÷要精検者数、●陽性反応適中度=がんであった者÷要精検者数、●がん発見率=がんであった者÷受診者数

(出典：R2～R4年度地域保健・健康増進事業報告)

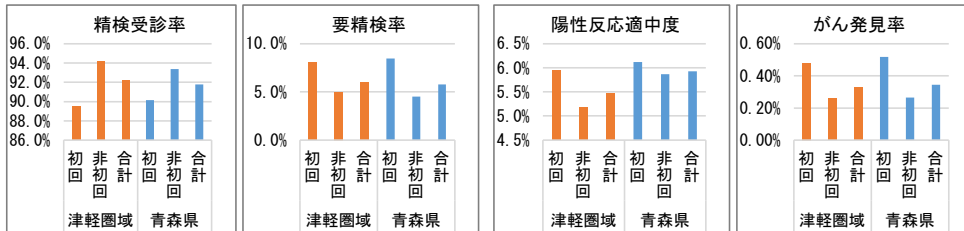
2. 乳がん検診の年齢階級別・受診歴別・検診方式別のプロセス指標



<乳がん検診の年齢階級別の要精検者数・精検受診者数・精検受診率 [令和元～令和3年度 女性]>

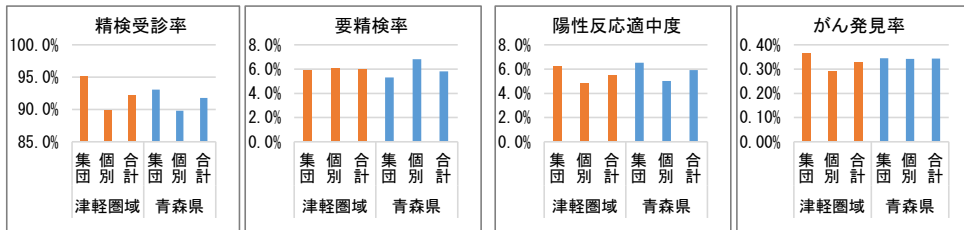
区分	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～74歳	
津軽圏域	要精検者数	303	203	260	147	228	160	199	85	54	1,639	1,500
津軽圏域	精検受診者数	275	183	235	135	214	151	190	82	52	1,517	1,383
津軽圏域	精検受診率	90.8%	90.1%	90.4%	91.8%	93.9%	94.4%	95.5%	96.3%	92.6%	92.2%	
青森県	要精検者数	1,181	824	911	555	754	688	860	336	175	6,284	5,773
青森県	精検受診者数	1,080	748	806	511	705	642	806	314	163	5,775	5,298
青森県	精検受診率	91.4%	90.8%	88.5%	92.1%	93.5%	93.3%	93.7%	93.1%	91.9%	91.8%	

<乳がん検診の受診歴別のプロセス指標 [令和元～令和3年度 40歳～74歳 女性]>



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率	
津軽圏域	初回	7,934	640	573	38	8.1%	89.5%	5.9%	0.48%
津軽圏域	非初回	17,123	851	801	44	5.0%	94.1%	5.2%	0.26%
津軽圏域	合計	25,141	1,500	1,383	82	6.0%	92.2%	5.5%	0.33%
青森県	初回	31,855	2,696	2,430	165	8.5%	90.1%	6.1%	0.52%
青森県	非初回	66,264	2,998	2,799	176	4.5%	93.4%	5.9%	0.27%
青森県	合計	99,690	5,773	5,298	342	5.8%	91.8%	5.9%	0.34%

<乳がん検診の検診方式別のプロセス指標 [令和元～令和3年度 40歳～74歳 女性]>



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率	
津軽圏域	集団検診	11,451	672	639	42	5.9%	95.1%	6.3%	0.37%
津軽圏域	個別検診	13,690	828	744	40	6.0%	89.9%	4.8%	0.29%
津軽圏域	合計	25,141	1,500	1,383	82	6.0%	92.2%	5.5%	0.33%
青森県	集団検診	66,583	3,519	3,274	229	5.3%	93.0%	6.5%	0.34%
青森県	個別検診	33,107	2,254	2,024	113	6.8%	89.8%	5.0%	0.34%
青森県	合計	99,690	5,773	5,298	342	5.8%	91.8%	5.9%	0.34%

(出典：R2～R4年度地域保健・健康増進事業報告)

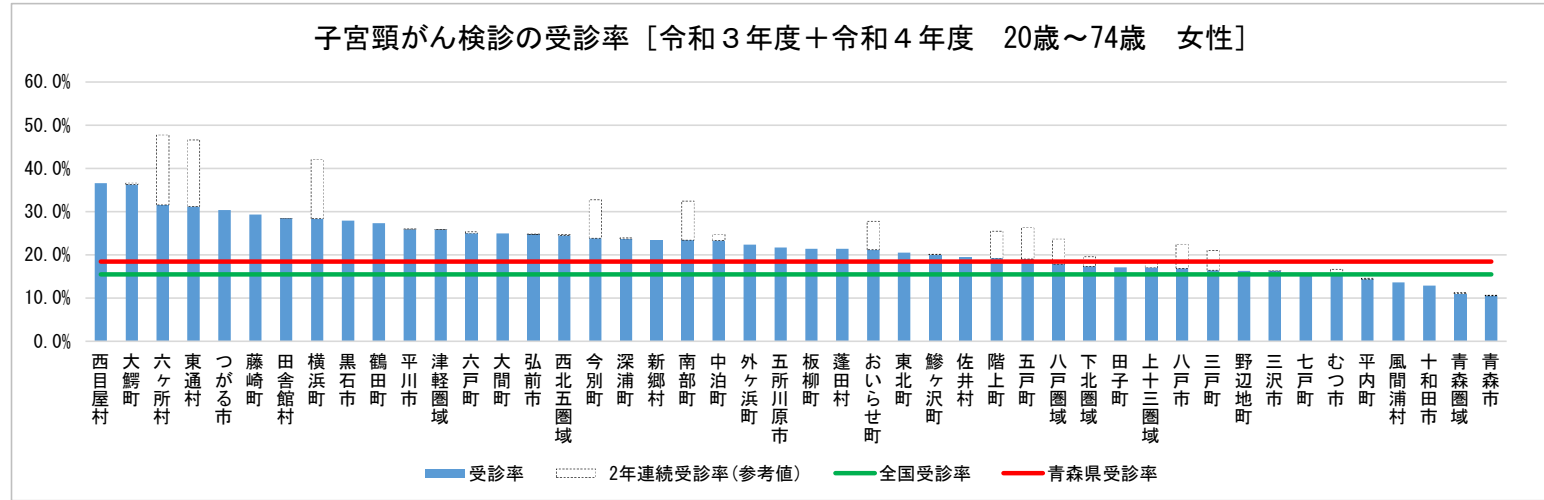
# 個別事項「プロセス指標」

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項  
 [令和6年12月11日付け青が生第1716号通知]

## 令和4年度 子宮頸がん検診プロセス指標 - 受診率 -

自治体名	津軽圏域
------	------

### 1. 子宮頸がん検診の受診率



**指標の意義・一般的な対策**

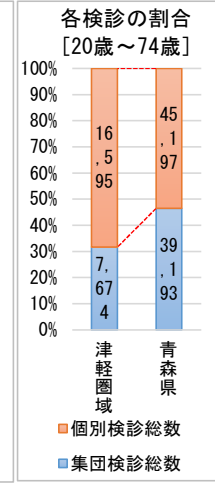
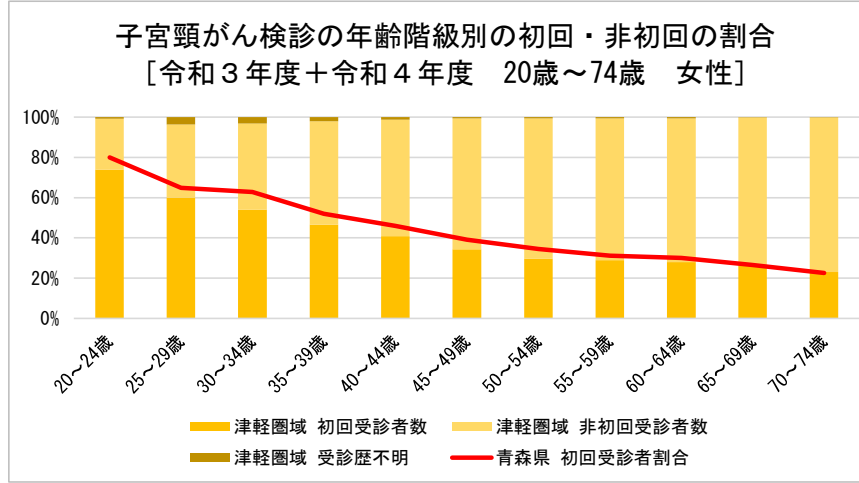
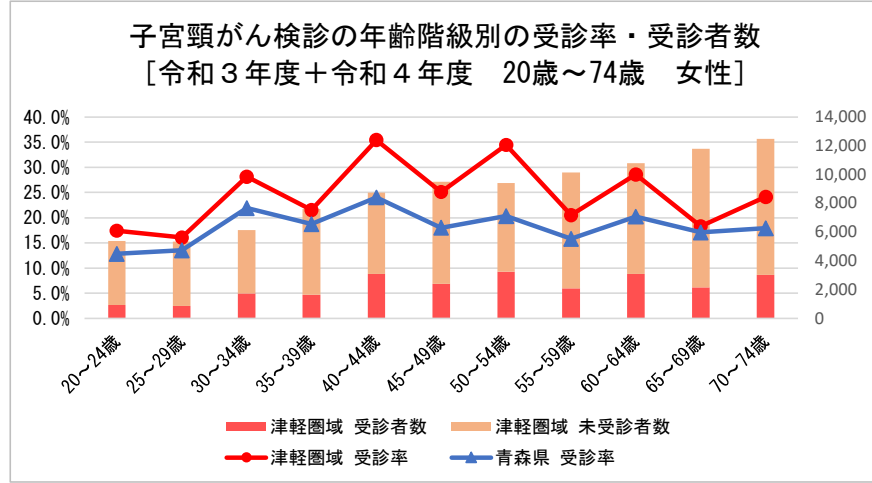
- ・受診率は、高い方が望ましい指標です。受診間隔（2年に1回）を遵守し、精度管理により検診の質を高めた上で、受診率を上げていく必要があります。
- ・性別・年齢階級別/検診機関別/検診歴別（初回・非初回別）の集計・分析は、課題を検討し、対策を講じるうえで必要となるため、台帳の電子システム化等により行えるようにすることが必要です。
- ・特定の年齢層の受診率が低い場合や、初回受診者が少ない場合、個別の受診勧奨・再勧奨の実施や、検診の提供体制（キャパシティ、利便性等）の改善について検討が必要です。

### <子宮頸がん検診の受診率 [令和3年度+令和4年度 20歳~74歳 女性] >

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
受診率	15.5%	18.5%	11.0%	25.8%	17.9%	24.5%	17.1%	17.4%	10.5%	24.8%	16.9%	27.9%	21.7%	12.9%	16.3%	15.4%	30.4%	26.0%
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	40位	14位	31位	9位	21位	39位	34位	36位	5位	11位
受診者数	6,632,378	76,925	11,313	24,242	18,421	9,909	9,265	3,947	10,122	14,284	12,563	3,081	3,890	2,588	2,060	2,824	3,068	2,666
対象者数	42,687,942	416,807	102,647	93,814	103,029	40,382	54,197	22,738	96,113	57,656	74,174	11,047	17,919	20,015	12,646	18,340	10,105	10,263
区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱈ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
受診率	14.4%	23.9%	21.4%	22.4%	20.0%	23.7%	36.6%	29.3%	36.3%	28.4%	21.4%	27.3%	23.3%	16.4%	15.8%	25.0%	28.4%	20.5%
順位	37位	15位	23位	20位	26位	16位	1位	6位	2位	7位	22位	10位	19位	33位	35位	12位	8位	25位
受診者数	492	153	182	364	597	530	133	1,438	1,025	682	933	1,072	752	642	740	869	365	1,073
対象者数	3,414	641	851	1,628	2,979	2,235	363	4,903	2,825	2,399	4,358	3,922	3,222	3,923	4,681	3,478	1,286	5,229
区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	[受診率の計算方法について]					
受診率	31.6%	21.2%	25.0%	31.2%	13.6%	19.4%	16.5%	19.1%	17.1%	23.4%	19.2%	23.5%	(R4年度の受診者数-R4年度の2年連続受診者数+R3年度の受診者数)÷R4年度の対象者数=受診率					
順位	3位	24位	13位	4位	38位	27位	32位	29位	30位	18位	28位	17位	※他のプロセス指標に合わせ、75歳未満の受診率を計算しているため他の統計の受診率と異なる。					
受診者数	928	1,853	388	565	73	97	471	973	268	1,301	842	150						
対象者数	2,939	8,749	1,555	1,809	535	499	2,863	5,098	1,566	5,563	4,377	639						

(出典：R4年度地域保健・健康増進事業報告) ※対象者数(分母)は対象年齢の全住民で、受診者数(分子)は市町村事業の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。

2. 子宮頸がん検診の受診者の状況



< 子宮頸がん検診の年齢階級別の受診者数・受診率 [令和3年度+令和4年度 女性] >

※初回受診者＝過去3年間に受診歴がない者、非初回受診者＝過去3年間に受診歴がある者

区分		20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	20～69歳	20～74歳
津軽圏域	対象者数	5,385	5,342	6,138	7,617	8,747	9,515	9,411	10,152	10,798	11,785	12,492	30,872	128,254	84,890	97,382	
津軽圏域	受診者数	938	858	1,729	1,640	3,100	2,388	3,244	2,085	3,088	2,155	3,017	1,023	843	26,108	21,225	24,242
津軽圏域	初回受診者数	694	514	933	763	1,266	822	966	603	864	568	695	279	285	9,252	7,993	8,688
津軽圏域	非初回受診者数	236	313	742	843	1,796	1,552	2,257	1,468	2,206	1,582	2,318	741	558	16,612	12,995	15,313
津軽圏域	受診歴不明	8	31	54	34	38	14	21	14	18	5	4	3	0	244	237	241
津軽圏域	受診率	17.4%	16.1%	28.2%	21.5%	35.4%	25.1%	34.5%	20.5%	28.6%	18.3%	24.2%	6.0%		20.4%	25.0%	24.9%
青森県	対象者数	21,532	21,544	24,657	31,234	35,725	42,211	43,689	42,212	46,238	49,920	57,845	140,331	557,138	358,962	416,807	
青森県	受診者数	2,760	2,912	5,408	5,854	8,582	7,602	8,877	6,670	9,358	8,524	10,378	4,431	2,873	84,229	66,547	76,925
青森県	初回受診者数	2,206	1,888	3,397	3,036	3,940	2,974	3,068	2,079	2,819	2,261	2,340	1,050	803	31,861	27,668	30,008
青森県	非初回受診者数	514	953	1,903	2,717	4,529	4,518	5,709	4,510	6,437	6,159	7,945	3,348	2,053	51,295	37,949	45,894
青森県	受診歴不明	40	71	108	101	113	110	100	81	102	104	93	33	17	1,073	930	1,023
青森県	受診率	12.8%	13.5%	21.9%	18.7%	24.0%	18.0%	20.3%	15.8%	20.2%	17.1%	17.9%	5.2%		15.1%	18.5%	18.5%

※受診者数はR3年度とR4年度の受診者数の合計からR4年度の2年連続受診者数を除いた人数である。

※初回受診者数と非初回受診者数の合計が受診者数と一致しない、または初回受診者数と非初回受診者数を計上していない市町村があるため、そのような場合は受診歴不明として計上している。

※対象者数から受診者数を除いた人数を未受診者数と定義しているが、実際は職場や人間ドック等でがん検診を受診している者が含まれている。

# 個別事項「プロセス指標」 (別紙9とは対象年度が異なる点に留意)

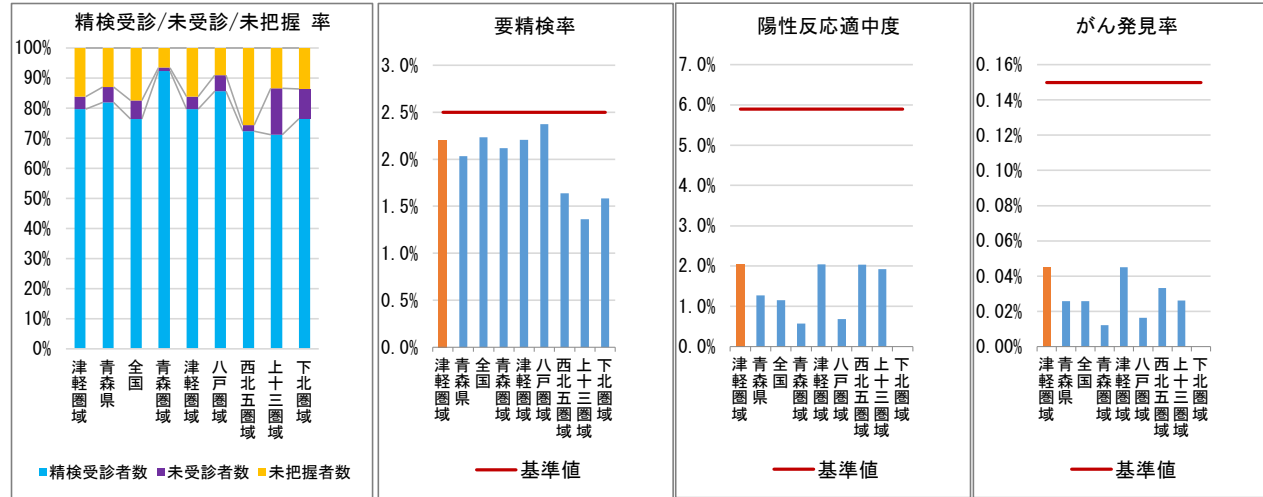
別紙9\_参考2

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項  
[令和6年12月11日付け青が生第1716号通知]

## 令和元～令和3年度 子宮頸がん検診プロセス指標 - 受診率を除く -

自治体名 **津軽圏域**

### 1. 子宮頸がん検診のプロセス指標 (受診率を除く)



※基準値以下で極端な高低がないこと ※基準値以上で極端な高低がないこと ※基準値以上で極端な高低がないこと

### <子宮頸がん検診のプロセス指標 [令和元～令和3年度 20歳～74歳 女性]>

区分	津軽圏域	青森県	全国	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	基準値※
受診者数	35,495	127,474	11,341,914	16,521	35,495	36,818	15,023	15,274	8,343	—
要精検者数	783	2,593	253,507	350	783	874	246	208	132	—
未把握者数	127	338	44,232	23	127	79	63	28	18	—
未受診者数	32	132	15,714	4	32	46	5	32	13	—
精検受診者数	624	2,123	193,561	323	624	749	178	148	101	—
がんであった者	16	33	2,909	2	16	6	5	4	0	—
要精検率	2.2%	2.0%	2.2%	2.1%	2.2%	2.4%	1.6%	1.4%	1.6%	2.5% 以下
精検受診率	79.7%	81.9%	76.4%	92.3%	79.7%	85.7%	72.4%	71.2%	76.5%	90% 以上
未受診率+未把握率	20.3%	18.1%	23.6%	7.7%	20.3%	14.3%	27.6%	28.8%	23.5%	10% 以下
陽性反応適中度	2.0%	1.3%	1.1%	0.6%	2.0%	0.7%	2.0%	1.9%	0.0%	5.9% 以上
がん発見率	0.05%	0.03%	0.03%	0.01%	0.05%	0.02%	0.03%	0.03%	0.00%	0.15% 以上

※プロセス指標の数値は20～74歳までの者の値

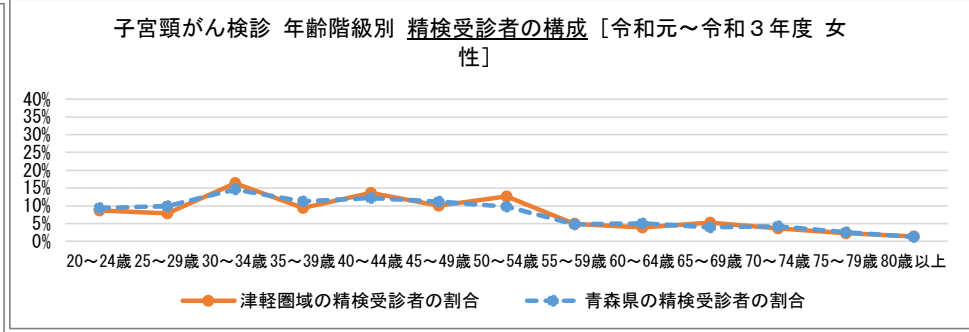
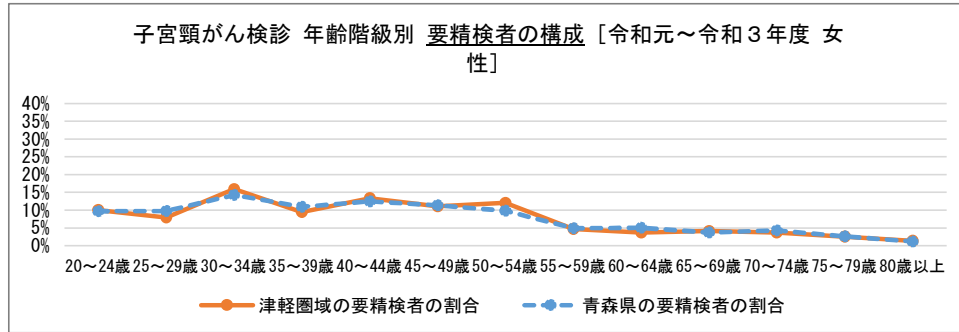
[計算方法] ●要精検率=精検受診者数÷受診者数、●精検受診率=精検受診者数÷要精検者数、●未受診率=未受診者数÷要精検者数、●未把握率=未把握者数÷要精検者数、  
●陽性反応適中度=(がん、AIS、CIN3であった者の和)÷要精検者数、●がん発見率=(がん、AIS、CIN3であった者の和)÷受診者数

(出典：R2～R4年度地域保健・健康増進事業報告)

### 指標の意義・一般的な対策

精検受診率 未受診率 未把握率	<ul style="list-style-type: none"> <li>要精検者の精検受診状況を測る指標です。</li> <li>精検受診率が低ければ、死亡率減少につながらないため、検診受診率よりも精検受診率向上が優先されます。また、100%に近くなければ、がん発見率等を適切に評価できません。</li> <li>精検結果回収の仕組みを整備し、精検未受診・未把握を適切に分類して、精検受診勧奨に取り組むことで、精検受診率100%に向けて取り組む必要があります。</li> </ul>
要精検率	<ul style="list-style-type: none"> <li>検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標です。対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。</li> <li>要精検率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。</li> </ul>
陽性反応適中度	<ul style="list-style-type: none"> <li>検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。</li> <li>陽性反応適中度が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。</li> </ul>
がん発見率	<ul style="list-style-type: none"> <li>検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。</li> <li>がん発見率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。</li> </ul>

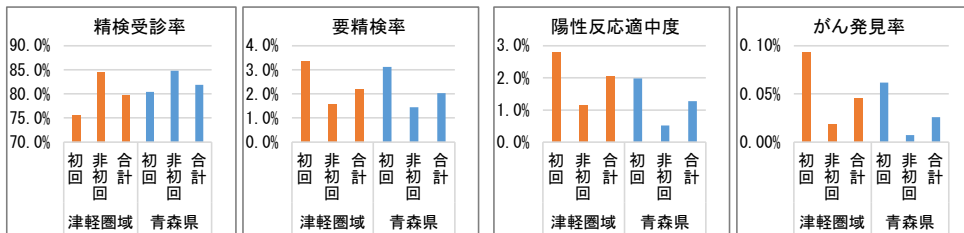
2. 子宮頸がん検診の年齢階級別・受診歴別・検診方式別のプロセス指標



<子宮頸がん検診の年齢階級別の要精検者数・精検受診者数・精検受診率 [令和元～令和3年度 女性] >

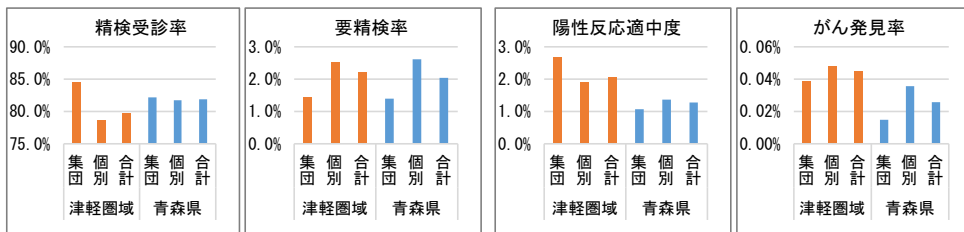
区分	要精検者数	精検受診者数	精検受診率
津軽圏域	82	56	68.3%
青森県	262	207	79.0%

<子宮頸がん検診の受診歴別のプロセス指標 [令和元～令和3年度 20歳～74歳 女性] >



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
津軽圏域 初回	12,941	431	326	12	3.3%	75.6%	2.8%	0.09%
津軽圏域 非初回	22,299	349	295	4	1.6%	84.5%	1.1%	0.02%
津軽圏域 合計	35,495	783	624	16	2.2%	79.7%	2.0%	0.05%
青森県 初回	43,665	1,361	1,095	27	3.1%	80.5%	2.0%	0.06%
青森県 非初回	80,434	1,160	984	6	1.4%	84.8%	0.5%	0.01%
青森県 合計	127,474	2,593	2,123	33	2.0%	81.9%	1.3%	0.03%

<子宮頸がん検診の検診方式別のプロセス指標 [令和元～令和3年度 20歳～74歳 女性] >



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
津軽圏域 集団検診	10,420	149	126	4	1.4%	84.6%	2.7%	0.04%
津軽圏域 個別検診	25,075	634	498	12	2.5%	78.5%	1.9%	0.05%
津軽圏域 合計	35,495	783	624	16	2.2%	79.7%	2.0%	0.05%
青森県 集団検診	60,321	842	692	9	1.4%	82.2%	1.1%	0.01%
青森県 個別検診	67,153	1,751	1,431	24	2.6%	81.7%	1.4%	0.04%
青森県 合計	127,474	2,593	2,123	33	2.0%	81.9%	1.3%	0.03%